

# 財 務 諸 表 等

平成26年度

(第4期事業年度)

自 平成26年4月 1 日

至 平成27年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

# 財 務 諸 表

貸借対照表  
(平成27年3月31日現在)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
I 固定資産	
1 有形固定資産	
土地	1,782,690,000
建物	10,317,383,000
建物減価償却累計額	2,214,696,526
構築物	251,955,288
構築物減価償却累計額	79,104,609
器械備品	5,093,921,140
器械備品減価償却累計額	2,674,445,418
車両	4,358,597
車両減価償却累計額	2,581,730
建設仮勘定	162,394,749
その他有形固定資産	3,850,000
他有形固定資産減価償却累計額	0
有形固定資産合計	12,645,724,491
2 無形固定資産	
ソフトウェア	570,665,527
電話加入権	1,176,900
その他無形固定資産	3,522,164
無形固定資産合計	575,364,591
3 投資その他の資産	
投資有価証券	99,982,666
長期前払消費税	242,785,620
投資その他資産	11,760
投資その他の資産合計	342,780,046
固定資産合計	13,563,869,128
II 流動資産	
現金及び預金	1,749,099,057
医業未収金	1,768,410,043
貸倒引当金	△ 40,906,191
未収金	30,095,995
貯蔵品	
医療材料	
医薬品	110,196,069
診療材料	45,919,202
その他貯蔵品	5,218,570
その他流動資産	42,392,089
流動資産合計	3,710,424,834
資産合計	17,274,293,962

貸借対照表  
(平成27年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	225,734,682	
資産見返寄附金	355,542	
資産見返物品受贈額	<u>36,803,621</u>	262,893,845
長期寄附金債務		
長期借入金		2,928,125,992
移行前地方債償還債務		5,354,460,585
引当金		
退職給付引当金	<u>4,755,398,466</u>	4,755,398,466
長期リース債務		<u>219,805,482</u>
固定負債合計		13,520,684,370
II 流動負債		
寄附金債務		12,355,439
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		849,489,316
1年以内返済予定長期借入金		387,153,395
医業未払金		1,155,513,837
未払金		171,850,057
1年以内支払予定リース債務		112,993,500
未払消費税等		13,261,400
前受金		79,281,178
預り金		52,471,950
引当金		
賞与引当金		<u>389,315,836</u>
流動負債合計		<u>3,223,685,908</u>
負債合計		16,744,370,278
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金		<u>174,353,108</u>
資本金合計		174,353,108
II 利益剰余金		
積立金		327,636,223
当期末処分利益		<u>27,934,353</u>
(うち当期総利益)	( 27,934,353 )	
利益剰余金合計		<u>355,570,576</u>
純資産合計		<u>529,923,684</u>
負債純資産合計		<u>17,274,293,962</u>

## 損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	7,743,897,936	
外来収益	3,102,645,050	
その他医業収益	311,790,538	11,158,333,524
運営費負担金収益		4,108,851,519
補助金等収益		17,511,000
寄附金収益		338,742
資産見返補助金等戻入		40,524,783
資産見返寄附金戻入		44,322
資産見返物品受贈額戻入		6,506,424
その他営業収益		3,282,099
営業収益合計		15,335,392,413
営業費用		
医業費用		
給与費	7,682,316,416	
材料費	2,867,380,766	
経費	2,514,060,172	
減価償却費	1,438,842,680	
研究研修費	150,176,140	14,652,776,174
一般管理費		
給与費	176,561,019	
経費	15,344,367	
減価償却費	7,694,210	199,599,596
取得財産に係る控除対象外消費税償却		48,089,861
控除対象外消費税(消費税損失)		415,260,928
営業費用合計		15,315,726,559
営業利益		19,665,854
営業外収益		
運営費負担金収益		143,893,000
補助金等収益		73,982
寄附金収益		1,479,280
財務収益		473,670
償却債権取立益		255,840
その他営業外収益		73,268,936
営業外収益合計		219,444,708
営業外費用		
財務費用		208,218,395
その他営業外費用		37,512,393
営業外費用合計		245,730,788
経常損失		△ 6,620,226
臨時利益		
固定資産売却益		611,011
過年度損益修正益		12,346,663
その他臨時利益		45,061
臨時利益合計		13,002,735
臨時損失		
固定資産除却損		48,456
過年度損益修正損		1,683,115
臨時損失合計		1,731,571
当期純利益		4,650,938
目的積立金取崩額		23,283,415
当期総利益		27,934,353

## キャッシュ・フロー計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
医療材料の購入による支出	△ 3,250,845,009
人件費支出	△ 7,839,355,088
その他業務支出	△ 2,574,762,761
医業収入	11,257,811,269
運営費負担金収入	4,252,744,519
補助金等収入	29,704,900
寄附金収入	1,220,000
その他業務収入	93,135,002
小計	1,969,652,832
利息受取額	471,004
利息支払額	△ 208,218,395
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,761,905,441
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	4,300,000,000
定期預金の預入による支出	△ 4,800,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 471,211,184
有形固定資産の売却による収入	407,130
無形固定資産の取得による支出	△ 483,123,200
投資有価証券の取得による支出	△ 99,980,000
その他の投資活動による支出	△ 10,689,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,564,596,314
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金による収入	500,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 500,000,000
長期借入金による収入	851,900,000
長期借入金の返済による支出	△ 211,920,613
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 1,159,805,504
リース債務の返済による支出	△ 113,579,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 633,405,771
IV 資金増加額(又は減少額)	△ 436,096,644
V 資金期首残高	1,685,195,701
VI 資金期末残高	1,249,099,057

利益の処分に関する書類

( 平成27年9月7日 )

【地方独立行政法人 宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
I 当期末処分利益		27,934,353
当期総利益	27,934,353	
II 利益処分額		
積立金	<u>27,934,353</u>	<u>27,934,353</u>

## 行政サービス実施コスト計算書

（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

（単位：円）

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
医業費用	14,652,776,174		
一般管理費	199,599,596		
取得財産に係る控除対象外消費税償却	48,089,861		
控除対象外消費税（消費税損失）	415,260,928		
営業外費用	245,730,788		
臨時損失	1,731,571	15,563,188,918	
(2) (控除) 自己収入等			
医業収益	△ 11,158,333,524		
寄付金収益	△ 1,818,022		
臨時利益	△ 656,072		
その他収益	△ 77,024,705	△ 11,237,832,323	
業務費用合計			4,325,356,595
(うち減価償却費充当補助金相当額)			△ 40,524,783
II 引当外退職給付増加見積額	19,831,500		19,831,500
III 機会費用			
地方公共団体出資等の機会費用	688,694		
無利子又は通常より有利な条件による融資取引の機会費用	6,375,000		7,063,694
IV 行政サービス実施コスト			4,352,251,789

## 注 記 事 項

### I 重要な会計方針

- 1 運営費負担金収益の計上基準  
期間進行基準を採用しております。  
ただし、移行前地方債利息等については費用進行基準を採用しております。
- 2 減価償却の会計処理方法
  - (1) 有形固定資産  
定額法を採用しております。  
なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	4年～39年
構築物	3年～37年
機器備品	2年～21年
車両	2年～6年
  - (2) 無形固定資産  
定額法を採用しております。  
なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間に基づいて償却しております。
- 3 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準  
役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。  
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における役職員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。  
なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しております。
- 4 貸倒引当金の計上基準  
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- 5 賞与引当金の計上基準  
役職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
- 6 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的債券については、償却原価法(定額法)を採用しております。
- 7 たな卸資産の評価基準及び評価方法  
医薬品、診療材料及び貯蔵品とも、最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
- 8 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
  - (1) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率  
10年利付国債の平成27年3月末における利回りを参考に0.395%で計算しております。
  - (2) 政府又は地方公共団体の無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率  
宮城県からの無利子の短期借入金については、市中金融機関からの借入利息1.275%にて計算しております。

## 9 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

## 10 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

## II 金融商品関係の時価等に関する事項

### 1 金融商品関係の状況に関する事項

当法人の資金運用は、預金並びに国債、地方債、政府保証債等に限定し、資金調達については設立団体からの借入により資金を調達しております。

未収債権等に係る回収リスクは、未収金取扱要領に沿ってリスク低減を図っております。

借入金等の用途は運転資金（主として短期借入金）及び事業投資資金（長期）であり、設立団体の長により認可された資金計画に従って、資金調達を行っております。

### 2 金融商品関係の時価に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：円)

区 分	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 投資有価証券	99,982,666	100,010,000	27,334
(2) 現金及び預金	1,749,099,057	1,749,099,057	—
(3) 未 収 金	1,798,506,038	1,798,506,038	—
(4) 長期借入金	(3,315,279,387)	(3,392,081,692)	(76,802,305)
(5) 移行前地方債 償還債務	(6,203,949,901)	(6,983,042,008)	(779,092,107)
(6) 未 払 金	(1,327,363,894)	(1,327,363,894)	—
(7) リース債務	(332,798,982)	(332,213,243)	(△ 585,739)

(注1) 負債で計上されているものは( )で表示しております。

(注2) 金融商品の時価の算出方法

- (1) 投資有価証券  
取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。
- (2) 現金及び預金、(3) 未収金、(6) 未払金  
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
- (4) 長期借入金、(5) 移行前地方債償還債務、(7) リース債務  
これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっております。  
なお、長期借入金及び移行前地方債償還債務には、1年以内返済予定の金額を、リース債務には、1年以内支払予定の金額を含めて記載しております。  
また、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

### III キャッシュ・フロー計算書関係

#### 1 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	1,749,099,057 円
現金及び預金勘定のうち定期預金	<u>△ 500,000,000 円</u>
資金期末残高	1,249,099,057 円

#### 2 重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	306,231,062 円
--------------------	---------------

### IV オペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

### V 固定資産の減損関係

#### 1 固定資産のグルーピングの方法

当法人においては、継続的に収支の把握を行っている各病院単位を1つの資産グループとして取り扱っております。

#### 2 共用資産の取扱い

##### (1) 共用資産の概要 (単位：円)

名 称	場 所	固定資産額
法人本部	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1	123,548,600

##### (2) 共用資産の取扱いの方法

共用資産に係る減損の兆候の把握等は、3病院に法人本部を加えた機構全体で行います。

#### 3 減損の兆候が認められた固定資産

該当事項はありません。

### VI 退職給付関係

#### 1 退職給付債務に関する事項

退職給付債務(A)	4,613,519,600 円
未認識数理計算上の差異(B)	<u>141,878,866 円</u>
退職給付引当金(C)=(A)+(B)	4,755,398,466 円

ただし、地方独立行政法人会計基準注33に基づき、移行前に計上すべき退職給付引当金は、中期目標期間内で計上することとしております。

#### 2 退職給付費用に関する事項

勤務費用	330,576,255 円
利息費用	38,069,805 円
数理計算上の差異の費用処理額	3,992,298 円
会計基準変更時差異(移行時差異)	<u>50,000,000 円</u>
退職給付費用	422,638,358 円

#### 3 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

割引率	0.80%
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
数理計算上の差異の処理年数	10年

VII 賃貸等不動産関係

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

VIII 資産除去債務

該当事項はありません。

IX 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払いが発生する重要なものは、以下のとおりです。

(単位：円)

契約内容	病院名	契約金額	翌事業年度以降の支払金額
医療情報システム保守管理業務 (H23～H27)	循環器・呼吸器病センター及び精神医療センター	262,843,272	54,422,508
庁舎管理業務 (H25～H27)	循環器・呼吸器病センター	216,443,880	72,822,240

契約内容	病院名	契約金額	翌事業年度以降の支払金額
医事業務 (H25～H27)	循環器・呼吸器病センター	124,140,600	42,508,800
機械設備等保守運転業務 (H25～H28)	精神医療センター	180,523,200	90,892,800
ESCO事業 (H20～H29)	がんセンター	529,540,000	179,280,000
建物総合管理業務 (H25～H27)	がんセンター	549,418,380	186,233,040
医事業務 (H25～H27)	がんセンター	269,813,092	90,720,000
物品・薬品管理業務 (H26～H28)	がんセンター	127,807,200	88,058,664
中央材料室滅菌業務 (H26～H28)	がんセンター	128,435,806	88,491,528
医療情報システム保守業務 (H26～H28)	がんセンター	100,163,304	87,609,600

X 重要な後発事象

該当事項はありません。

# 財 務 諸 表

(附屬明細書)

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額	当期償却額	差引当期末残高	摘要
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	10,317,383,000	0	0	10,317,383,000	2,214,696,526	580,009,467	8,102,686,474	
	構築物	251,955,288	0	0	251,955,288	79,104,609	17,342,329	172,850,679	
	器械備品	4,593,969,213	608,717,204	108,765,277	5,093,921,140	2,674,445,418	754,192,922	2,419,475,722	
	車両	2,854,883	1,588,380	84,666	4,358,597	2,581,730	492,622	1,776,867	
	計	15,166,162,384	610,305,584	108,849,943	15,667,618,025	4,970,828,283	1,352,037,340	10,696,789,742	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物								
	構築物								
	計								
非償却資産	土地	1,782,690,000	0	0	1,782,690,000			1,782,690,000	
	建設仮勘定	19,819,050	142,575,699	0	162,394,749			162,394,749	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	0	3,850,000			3,850,000	
	計	1,806,359,050	142,575,699	0	1,948,934,749			1,948,934,749	
有形固定資産 合計	土地	1,782,690,000	0	0	1,782,690,000			1,782,690,000	
	建物	10,317,383,000	0	0	10,317,383,000	2,214,696,526	580,009,467	8,102,686,474	
	構築物	251,955,288	0	0	251,955,288	79,104,609	17,342,329	172,850,679	
	器械備品	4,593,969,213	608,717,204	108,765,277	5,093,921,140	2,674,445,418	754,192,922	2,419,475,722	(注1)
	車両	2,854,883	1,588,380	84,666	4,358,597	2,581,730	492,622	1,776,867	
	建設仮勘定	19,819,050	142,575,699	0	162,394,749			162,394,749	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	0	3,850,000			3,850,000	
	計	16,972,521,434	752,881,283	108,849,943	17,616,552,774	4,970,828,283	1,352,037,340	12,645,724,491	
無形固定資産	ソフトウェア	345,280,750	465,997,000	0	811,277,750	240,612,223	94,630,552	570,665,527	
	電話加入権	1,176,900	0	0	1,176,900			1,176,900	
	その他無形固定資産	6,747,290	0	0	6,747,290	3,225,126	721,873	3,522,164	
	計	353,204,940	465,997,000	0	819,201,940	243,837,349	95,352,425	575,364,591	
投資その他 の資産	投資有価証券	0	99,982,666	0	99,982,666	0	0	99,982,666	
	長期前払消費税	338,661,892	76,837,079	0	415,498,971	172,713,351	48,089,861	242,785,620	
	その他投資資産	0	11,760	0	11,760			11,760	
	計	338,661,892	176,831,505	0	515,493,397	172,713,351	48,089,861	342,780,046	

(注1)当期増加額の主なものは、がんセンターのFPD一般撮影システム77,328,000円と新総合情報システム481,123,200円でございます。

## (2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他(注)		
医薬品	181,658,130	2,273,297,628	0	2,339,850,130	4,909,559	110,196,069	
診療材料	42,353,734	516,621,620	0	510,866,910	2,189,242	45,919,202	
貯蔵品	5,549,273	151,292,754	0	151,623,457	0	5,218,570	
計	229,561,137	2,941,212,002	0	3,002,340,497	7,098,801	161,333,841	

(注)当期減少額のその他には、期限切れによる廃棄もしくは滅失した資産を記載しております。

## (3) 有価証券の明細

(単位:円)

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期損益に含まれた評価差額	摘要
		地方債 宮城県公募公債第10回1号	99,980,000	100,000,000	99,982,666	2,666
	計	99,980,000	100,000,000	99,982,666	2,666	

## (4) 長期借入金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘要
23年度 災害復旧貸付金	54,700,000	—	6,671,447	48,028,553	0.700%	平成34年3月1日	
医療機械器具整備事業貸付金	164,400,000	—	54,800,000	109,600,000	0.335%	平成29年3月28日	
施設整備事業貸付金	57,700,000	—	9,616,666	48,083,334	0.694%	平成32年3月30日	
施設整備事業貸付金	30,100,000	—	3,762,500	26,337,500	0.830%	平成34年3月28日	
医療機械等購入事業貸付金	227,600,000	—	56,900,000	170,700,000	0.162%	平成30年3月29日	
施設整備事業貸付金	43,900,000	—	0	43,900,000	0.300%	平成33年3月29日	
施設整備事業貸付金	454,300,000	—	0	454,300,000	1.500%	平成55年3月30日	
医療機械器具整備事業貸付金	801,700,000	—	80,170,000	721,530,000	0.391%	平成31年9月27日	
施設整備事業貸付金	490,100,000	—	0	490,100,000	1.400%	平成56年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	350,800,000	—	0	350,800,000	0.241%	平成31年3月28日	
施設整備事業貸付金	—	125,200,000	0	125,200,000	1.200%	平成57年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	—	726,700,000	0	726,700,000	0.164%	平成32年3月27日	
計	2,675,300,000	851,900,000	211,920,613	3,315,279,387	—	—	

## (5) 移行前地方債償還の明細

(単位:円)

銘柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
大蔵省資金運用部	19,224,715	—	3,485,532	15,739,183	4.850%	平成31年3月25日	
大蔵省資金運用部	2,738,384,178	—	254,042,299	2,484,341,879	4.400%	平成35年3月25日	
大蔵省資金運用部	180,019,062	—	15,215,543	164,803,519	3.650%	平成36年3月1日	
大蔵省資金運用部	67,318,349	—	4,183,064	63,135,285	2.100%	平成40年3月1日	
大蔵省資金運用部	229,453,537	—	13,162,171	216,291,366	2.100%	平成41年3月1日	
大蔵省資金運用部	36,368,716	—	2,086,223	34,282,493	2.100%	平成41年3月1日	
公営企業金融公庫	203,170,917	—	10,721,794	192,449,123	2.200%	平成42年3月20日	
財務省財政融資資金	52,541,417	—	2,408,048	50,133,369	2.200%	平成44年3月1日	
財務省財政融資資金	442,738,708	—	20,291,346	422,447,362	2.200%	平成44年3月1日	
財務省財政融資資金	333,865,882	—	16,188,042	317,677,840	0.900%	平成45年3月25日	
公営企業金融公庫	601,100	—	26,044	575,056	2.100%	平成45年3月20日	
公営企業金融公庫	12,522,896	—	530,897	11,991,999	2.000%	平成45年9月20日	
公営企業金融公庫	43,844,056	—	29,141,858	14,702,198	1.200%	平成27年9月20日	
財務省財政融資資金	528,301,443	—	19,670,362	508,631,081	2.100%	平成47年9月25日	
公営企業金融公庫	4,965,115	—	1,627,102	3,338,013	1.700%	平成29年3月20日	
財務省財政融資資金	59,994,705	—	1,945,517	58,049,188	2.100%	平成50年3月1日	
公営企業金融公庫	37,761,901	—	1,366,346	36,395,555	2.100%	平成48年3月20日	
仙南信用金庫	111,228,580	—	111,228,580	0	1.000%	平成27年3月25日	
三井住友銀行	452,045,360	—	92,710,928	359,334,432	2.060%	平成33年3月25日	
仙台銀行	82,675,000	—	82,675,000	0	0.562%	平成27年3月19日	
仙台銀行	115,825,000	—	115,825,000	0	0.562%	平成27年3月19日	
東和銀行	1,191,904,768	—	151,773,808	1,040,130,960	1.030%	平成34年3月25日	
仙台銀行	3,150,000	—	1,575,000	1,575,000	0.654%	平成28年3月29日	
仙台銀行	415,850,000	—	207,925,000	207,925,000	0.654%	平成28年3月29日	
計	7,363,755,405	—	1,159,805,504	6,203,949,901			

## (6) 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他(注)		
退職給付引当金	4,665,020,765	422,638,358	332,260,657		4,755,398,466	
賞与引当金	386,959,991	389,315,836	386,959,991		389,315,836	
貸倒引当金	17,303,000	26,217,639	2,614,448		40,906,191	
計	5,069,283,756	838,171,833	721,835,096	0	5,185,620,493	

## (7) 資本金の明細

(単位:円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	設立団体出資金	174,353,108	0	0	174,353,108	
	計	174,353,108	0	0	174,353,108	

## (8) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

## ア 積立金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
積立金	124,281,094	226,638,544	23,283,415	327,636,223	
計	124,281,094	226,638,544	23,283,415	327,636,223	

## イ 目的積立金の取崩しの明細

(単位:円)

区 分		金 額	摘 要
目的積立金取崩額	積立金(資質向上推進事業費)	23,283,415	研修受講料, 旅費等
	計	23,283,415	

## (9) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

## ア 運営費負担金債務

(単位:円)

交付年度	期首残高	負担金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	小計	
平成26年度	0	4,252,744,519	4,252,744,519	0	0	4,252,744,519	0
計	0	4,252,744,519	4,252,744,519	0	0	4,252,744,519	0

## イ 運営費負担金収益

業務等区分	平成26年度負担分	合計
期間進行基準	4,108,851,519	4,108,851,519
費用進行基準	143,893,000	143,893,000
計	4,252,744,519	4,252,744,519

## (10) 地方公共団体等からの財源措置の明細

## ア 補助金等の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資産剰余金	長期預り補助金等	収益計上	
地域医療復興事業(認定看護師課程派遣助成事業)補助金	400,000					400,000	
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	16,431,000					16,431,000	
新人看護職員研修事業補助金	680,000					680,000	
			0				
			0				
計	17,511,000	0	0	0	0	17,511,000	

## (11) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報酬または給与		退職手当	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役 員	( 1,410 )	( 4 )	( 0 )	( 0 )
	24,661	2	0	0
職 員	( 231,219 )	( 125 )	( 0 )	( 0 )
	5,945,048	810	332,261	53
計	( 232,629 )	( 129 )	( 0 )	( 0 )
	5,969,709	812	332,261	53

## (注1)

非常勤・有期職員については、外数として( )内に記載しています。  
また、支給人数については、年間平均支給人数で記載しています。

## (注2)

役員報酬については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構役員報酬等規程」に基づき支給しています。  
職員給与及び退職手当については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員給与規程」及び「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員退職手当規程」に基づき支給しています。

## (注3)

上記明細には、法定福利費は含めていません。

## (12) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区分	循環器・呼吸器病 センター	精神医療センター	がんセンター	計	機構本部	合計	
営業収益	2,259,347,409	2,895,252,804	10,130,137,957	15,284,738,170	50,654,243	15,335,392,413	
医業収益	1,176,467,132	1,985,799,689	7,996,066,703	11,158,333,524	0	11,158,333,524	
運営費負担金	1,065,871,552	898,882,932	2,094,599,035	4,059,353,519	49,498,000	4,108,851,519	
資産見返	13,856,256	10,420,183	22,381,589	46,658,028	417,501	47,075,529	
その他営業収益	3,152,469	150,000	17,090,630	20,393,099	738,742	21,131,841	
営業費用	2,697,518,604	2,759,200,422	9,655,325,690	15,112,044,716	203,681,843	15,315,726,559	
医業費用	2,620,819,681	2,707,157,302	9,322,661,821	14,650,638,804	2,137,370	14,652,776,174	
一般管理費	0	0	0	0	199,599,596	199,599,596	
その他営業費用	76,698,923	52,043,120	332,663,869	461,405,912	1,944,877	463,350,789	
営業損益	△ 438,171,195	136,052,382	474,812,267	172,693,454	△ 153,027,600	19,665,854	
営業外収益	19,509,847	19,832,447	179,955,701	219,297,995	146,713	219,444,708	
運営費負担金収益	12,649,000	7,301,000	123,801,000	143,751,000	142,000	143,893,000	
その他営業外収益	6,860,847	12,531,447	56,154,701	75,546,995	4,713	75,551,708	
営業外費用	18,578,963	10,643,881	216,365,272	245,588,116	142,672	245,730,788	
財務費用	18,110,319	10,269,686	179,695,718	208,075,723	142,672	208,218,395	
その他営業外費用	468,644	374,195	36,669,554	37,512,393	0	37,512,393	
経常損益	△ 437,240,311	145,240,948	438,402,696	146,403,333	△ 153,023,559	△ 6,620,226	
総資産	2,576,078,177	3,438,367,978	12,282,751,883	18,297,198,038	△ 1,022,904,076	17,274,293,962	
(主要資産内訳)							
固定資産	有形固定資産	2,259,304,821	2,033,535,211	8,340,740,031	12,633,580,063	12,144,428	12,645,724,491
流動資産	現金及び預金	329,400	422,392	642,950	1,394,742	1,747,704,315	1,749,099,057
	未収金	156,128,789	363,345,080	1,276,466,992	1,795,940,861	2,565,177	1,798,506,038

(注) セグメントの区分については、地方独立行政法人宮城県立病院機構会計規程に基づき、経理単位に区分しています。

(注) 目的積立金取崩額は、循環器・呼吸器病センター3,958,207円、精神医療センター5,243,710円、がんセンター13,499,953円、機構本部581,545円です。

## (13) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科目	金額	
医業費用		
給与費		
給料	3,212,492,749	
手当等	2,231,656,729	
賃金	217,071,420	
報酬	0	
法定福利費	1,222,710,934	
退職給付費用	417,592,486	
賞与引当金繰入額	<u>380,792,098</u>	<u>7,682,316,416</u>
材料費		
薬品費	2,339,850,130	
診療材料費	510,866,910	
医療消耗備品費	9,564,925	
たな卸資産減耗費	<u>7,098,801</u>	<u>2,867,380,766</u>
経費		
報償費	161,007,289	
旅費交通費	7,676,135	
職員被服費	9,865,521	
消耗品費	54,284,210	
消耗備品費	4,320,233	
光熱水費	282,123,916	
燃料費	133,272,718	
交際費	75,015	
食糧費	117,218	
印刷製本費	4,161,938	
修繕費	172,523,622	
保険料	16,445,139	
通信運搬費	14,291,228	
賃借料	75,019,655	
委託料	1,520,014,056	
諸会費	2,753,960	
貸倒引当金繰入額	26,217,639	
雑費	<u>29,890,680</u>	<u>2,514,060,172</u>
減価償却費		
建物減価償却費	580,009,467	
構築物減価償却費	17,342,329	
器械備品減価償却費	749,348,284	
車両減価償却費	293,675	
無形固定資産減価償却費	<u>91,848,925</u>	<u>1,438,842,680</u>
研究研修費		
研究材料費	16,703,391	
報償費	6,120,637	
研究旅費	47,465,048	
図書費	11,907,639	
研究雑費	<u>67,979,425</u>	<u>150,176,140</u>
医業費用合計		<u>14,652,776,174</u>
取得資産に係る控除対象外消費税償却		<u>48,089,861</u>
控除対象外消費税(消費税損失)		<u>415,260,928</u>
合計		<u>15,116,126,963</u>

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
給料	70,794,303	
手当等	33,708,013	
賃金	1,902,633	
報酬	26,827,797	
法定福利費	29,758,663	
退職給付費用	5,045,872	
賞与引当金繰入額	8,523,738	176,561,019
経費		
報償費	1,265,000	
旅費交通費	816,617	
消耗品費	1,498,042	
光熱水費	648,205	
燃料費	294,643	
交際費	379,444	
食糧費	45,464	
印刷製本費	9,000	
修繕費	47,000	
保険料	133,030	
通信運搬費	765,444	
賃借料	741,397	
委託料	6,450,669	
諸会費	124,500	
雑費	2,125,912	15,344,367
減価償却費		
器械備品減価償却費	3,991,763	
車両減価償却費	198,947	
無形固定資産減価償却費	3,503,500	7,694,210
一般管理費合計		199,599,596

(14) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

現金及び預金の内訳

区分	期末残高	備考
現金	1,444,742	
普通預金	1,247,654,315	
定期預金	500,000,000	
計	1,749,099,057	

# 決算報告書

平成26年度

(第4期事業年度)

自 平成26年4月 1 日

至 平成27年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

平成26年度決算報告書

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	15,385,697,000	15,366,995,772	△ 18,701,228	
医業収益	11,247,470,000	11,189,676,658	△ 57,793,342	患者数の減及び手術件数の減少による収益減
運営費負担金	4,077,611,000	4,108,851,519	31,240,519	25年度分の精算に伴う増
その他営業収益	60,616,000	68,467,595	7,851,595	受贈財産の増加による
営業外収益	208,703,000	224,288,365	15,585,365	
運営費負担金	143,893,000	143,893,000	0	
その他営業外収益	64,810,000	80,395,365	15,585,365	院内保育料及びに治験協力費等の増
臨時利益	41,500,000	13,069,860	△ 28,430,140	目的積立金取崩への移行による減
目的積立金取崩額	0	23,283,415	23,283,415	臨時利益からの移行による増
資本収入	1,100,000,000	865,036,214	△ 234,963,786	
運営費負担金	0	0	0	
長期借入金	1,100,000,000	851,900,000	△ 248,100,000	医療情報システム等契約請差に伴う減
その他資本収入	0	13,136,214	13,136,214	受託研究費等による資産購入の増
計	16,735,900,000	16,492,673,626	△ 243,226,374	
支出				
営業費用	15,593,420,000	15,349,632,879	△ 243,787,121	
医業費用	15,037,841,000	14,841,343,653	△ 196,497,347	
給与費	7,719,096,000	7,689,321,612	△ 29,774,388	時間外勤務手当等の減
材料費	2,939,413,000	2,867,380,766	△ 72,032,234	入院患者の減少による減
経費	2,708,517,000	2,685,542,562	△ 22,974,438	燃料単価の低下、契約請差等による減
減価償却費	1,484,934,000	1,438,842,680	△ 46,091,320	
研究研修費	185,881,000	160,256,033	△ 25,624,967	資質向上事業費の各病院への付替による減
一般管理費	234,041,000	200,980,527	△ 33,060,473	
給与費	199,994,000	176,770,253	△ 23,223,747	職員数の減による
経費	26,271,000	16,516,064	△ 9,754,936	委託料等の減
減価償却費	7,776,000	7,694,210	△ 81,790	
消費税及び地方消費税	24,002,000	23,938,700	△ 63,300	課税取引の減少による
取得資産に係る控除対象外消費税償却	50,817,000	48,089,861	△ 2,727,139	
控除対象外消費税	246,719,000	235,280,138	△ 11,438,862	課税取引の減少による
営業外費用	280,390,000	248,308,421	△ 32,081,579	予備費の減
臨時損失	610,000	1,761,759	1,151,759	過年度損益修正損の増
資本支出	2,653,982,000	2,484,692,731	△ 169,289,269	
建設改良費	1,282,253,000	1,012,974,854	△ 269,278,146	医療情報システム等契約請差による減
償還金	1,371,729,000	1,371,726,117	△ 2,883	
その他資本支出	0	99,991,760	99,991,760	宮城県債購入による増
計	18,528,402,000	18,084,395,790	△ 444,006,210	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成26年度決算報告書

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	2,371,837,000	2,260,412,920	△ 111,424,080	
医業収益	1,309,772,000	1,177,282,788	△ 132,489,212	患者数の減及び手術件数の減少による収益減
運営費負担金	1,048,111,000	1,065,871,552	17,760,552	25年度分の精算に伴う増
その他営業収益	13,954,000	17,258,580	3,304,580	予防接種件数増加による
営業外収益	19,050,000	19,823,370	773,370	
運営費負担金	12,649,000	12,649,000	0	
その他営業外収益	6,401,000	7,174,370	773,370	不要レントゲンフィルム売却代金などによる増
臨時利益	0	659,891	659,891	不要医療機器の売却による増
目的積立金取崩額	0	3,958,207	3,958,207	本部臨時利益からの移行による増
資本収入	83,200,000	61,807,130	△ 21,392,870	
長期借入金	83,200,000	61,400,000	△ 21,800,000	資産購入の請差に伴う借入の減
その他資本収入	0	407,130	407,130	
計	2,474,087,000	2,346,661,518	△ 127,425,482	
支出				
営業費用	2,806,788,000	2,698,909,455	△ 107,878,545	
医業費用	2,764,782,000	2,659,945,215	△ 104,836,785	
給与費	1,439,007,000	1,366,869,371	△ 72,137,629	時間外勤務手当等の減
材料費	339,855,000	314,122,667	△ 25,732,333	入院患者の減少による減
経費	616,661,000	613,484,042	△ 3,176,958	燃料単価の低下、経費削減による減
減価償却費	359,152,000	352,504,627	△ 6,647,373	
研究研修費	10,107,000	12,964,508	2,857,508	
消費税及び地方消費税	1,180,000	955,154	△ 224,846	課税取引の減少による
取得資産に係る控除対象外消費税償却	10,803,000	10,497,488	△ 305,512	
控除対象外消費税	30,023,000	27,511,598	△ 2,511,402	課税取引の減少による
営業外費用	19,228,000	18,616,026	△ 611,974	
臨時損失	602,000	29,988	△ 572,012	固定資産除却費の減
資本支出	467,368,000	443,357,257	△ 24,010,743	
建設改良費	108,185,000	84,175,266	△ 24,009,734	資産購入の請差による減
償還金	359,183,000	359,181,991	△ 1,009	
計	3,293,986,000	3,160,912,726	△ 133,073,274	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成26年度決算報告書

【精神医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	2,931,924,000	2,905,574,784	△ 26,349,216	
医業収益	2,012,614,000	1,996,121,669	△ 16,492,331	入院患者の減少による収益減
運営費負担金	908,890,000	898,882,932	△ 10,007,068	埋蔵文化財発掘調査費分の減
その他営業収益	10,420,000	10,570,183	150,183	
営業外収益	18,267,000	20,730,952	2,463,952	
運営費負担金	7,301,000	7,301,000	0	
その他営業外収益	10,966,000	13,429,952	2,463,952	看護実習受託件数の増による
目的積立金取崩額	0	5,243,710	5,243,710	本部臨時利益からの移行による増
資本収入	188,100,000	127,800,000	△ 60,300,000	
長期借入金	188,100,000	127,800,000	△ 60,300,000	建替業務の工期延期等による借入金額減
計	3,138,291,000	3,059,349,446	△ 78,941,554	
支出				
営業費用	2,717,968,000	2,770,396,931	52,428,931	
医業費用	2,689,007,000	2,744,024,294	55,017,294	
給与費	1,779,643,000	1,822,132,333	42,489,333	精神保健指定医手当新設等による増
材料費	166,335,000	139,247,712	△ 27,087,288	入院患者の減少・経費節減等による減
経費	551,316,000	574,464,495	23,148,495	漏水等の発生に伴う増
減価償却費	180,973,000	179,452,449	△ 1,520,551	
研究研修費	10,740,000	28,727,305	17,987,305	子ども支援センター事業等に伴う増
消費税及び地方消費税	7,773,000	7,349,181	△ 423,819	課税取引の減少による
取得資産に係る控除対象外消費税償却	4,134,000	3,925,127	△ 208,873	
控除対象外消費税	17,054,000	15,098,329	△ 1,955,671	課税取引の減少による
営業外費用	12,003,000	10,667,857	△ 1,335,143	
臨時損失	7,000	18,378	11,378	
資本支出	346,747,000	254,835,995	△ 91,911,005	
建設改良費	259,073,000	167,163,261	△ 91,909,739	建替業務の工期延期及び資産購入の請差等による減
償還金	87,674,000	87,672,734	△ 1,266	
計	3,076,725,000	3,035,919,161	△ 40,805,839	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成26年度決算報告書

【がんセンター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	10,032,438,000	10,150,353,825	117,915,825	
医業収益	7,925,084,000	8,016,272,201	91,188,201	患者単価の増加等による
運営費負担金	2,071,112,000	2,094,599,035	23,487,035	25年度分の精算に伴う増
その他営業収益	36,242,000	39,482,589	3,240,589	受贈財産の増加による
営業外収益	171,244,000	183,587,330	12,343,330	
運営費負担金	123,801,000	123,801,000	0	
その他営業外収益	47,443,000	59,786,330	12,343,330	院内保育料及びに治験協力費等の増
臨時利益	0	12,409,969	12,409,969	25年度分の精算に伴う増
目的積立金取崩額	0	13,499,953	13,499,953	本部臨時利益からの移行による増
資本収入	828,700,000	675,429,084	△ 153,270,916	
長期借入金	828,700,000	662,700,000	△ 166,000,000	医療情報システム等契約請差に伴う減
その他資本収入	0	12,729,084	12,729,084	受託研究費等による資産購入の増
計	11,032,382,000	11,035,280,161	2,898,161	
支出				
営業費用	9,784,668,000	9,676,644,650	△ 108,023,350	
医業費用	9,534,565,000	9,435,100,819	△ 99,464,181	
給与費	4,500,446,000	4,500,319,908	△ 126,092	
材料費	2,433,223,000	2,414,010,387	△ 19,212,613	経費節減等による減
経費	1,540,540,000	1,497,206,375	△ 43,333,625	燃料単価の低下、契約請差等による減
減価償却費	944,809,000	906,885,604	△ 37,923,396	
研究研修費	115,547,000	116,678,545	1,131,545	資質向上事業による増
消費税及び地方消費税	15,049,000	15,634,365	585,365	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	35,456,000	33,246,273	△ 2,209,727	
控除対象外消費税	199,598,000	192,663,193	△ 6,934,807	課税取引の減少による
営業外費用	219,016,000	218,881,866	△ 134,134	
臨時損失	1,000	1,713,392	1,712,392	過年度損益修正損の増
資本支出	1,824,943,000	1,672,050,127	△ 152,892,873	
建設改良費	912,571,000	759,678,735	△ 152,892,265	医療情報システム等契約請差による減
償還金	912,372,000	912,371,392	△ 608	
計	11,828,628,000	11,569,290,035	△ 259,337,965	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成26年度決算報告書

【本部】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	49,498,000	50,654,243	1,156,243	
運営費負担金	49,498,000	49,498,000	0	
その他営業収益	0	1,156,243	1,156,243	
営業外収益	142,000	146,713	4,713	
運営費負担金	142,000	142,000	0	
その他営業外収益	0	4,713	4,713	
臨時利益	41,500,000	0	△ 41,500,000	目的積立金取崩への移行による減
目的積立金取崩額	0	581,545	581,545	臨時利益からの移行による増
計	91,140,000	51,382,501	△ 39,757,499	
支出				
営業費用	283,996,000	203,681,843	△ 80,314,157	
医業費用	49,487,000	2,273,325	△ 47,213,675	
経費	0	387,650	387,650	
研究研修費	49,487,000	1,885,675	△ 47,601,325	資質向上事業費の各病院への付替による減
一般管理費	234,041,000	200,980,527	△ 33,060,473	
給与費	199,994,000	176,770,253	△ 23,223,747	職員数の減による
経費	26,271,000	16,516,064	△ 9,754,936	委託料等の減
減価償却費	7,776,000	7,694,210	△ 81,790	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	424,000	420,973	△ 3,027	
控除対象外消費税	44,000	7,018	△ 36,982	
営業外費用	30,143,000	142,672	△ 30,000,328	予備費の減
臨時損失	0	1	1	
資本支出	14,924,000	114,449,352	99,525,352	
建設改良費	2,424,000	1,957,592	△ 466,408	
償還金	12,500,000	12,500,000	0	
その他資本支出	0	99,991,760	99,991,760	宮城県債購入による増
計	329,063,000	318,273,868	△ 10,789,132	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

# 業務実績報告書

平成26年度  
(第4期事業年度)



平成27年6月

地方独立行政法人 宮城県立病院機構

## 目 次

### I 宮城県立病院機構の概要

1 名 称 .....	1
2 所在地 .....	1
3 法人設立年月日 .....	1
4 設立団体 .....	1
5 設立目的 .....	1
6 業務の内容 .....	1
7 役 員 .....	1
8 組織の現況 .....	2
9 組織図 .....	3
10 職員の状況 .....	4

### II 事業報告

1 事業を取り巻く環境 .....	5
2 重点事項の実施状況 .....	6
3 平成26年度の経営状況 .....	14

## I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

### 1 名称

地方独立行政法人宮城県立病院機構

### 2 所在地

宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1

### 3 法人設立年月日

平成23年4月1日

### 4 設立団体

宮城県

### 5 設立目的

地方独立行政法人宮城県立病院機構は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、宮城県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに、医療に関する調査及び研究を行い、県内における医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする。

### 6 業務の内容

- ① 医療の提供及びその附帯業務
- ② 医療に関する調査及び研究並びにその附帯業務
- ③ 医療に関する技術者の研修及びその附帯業務

### 7 役員（平成27年3月31日現在）

理事長	菅村和夫
副理事長	千葉裕一
理事	近内利明（循環器・呼吸器病センター院長兼務）
理事	小高晃（精神医療センター院長兼務）
理事	西條茂（がんセンター総長兼務）
理事	片倉隆一（がんセンター院長兼務）
理事	近藤俊之
理事	紙屋克子
監事	小山かほる
監事	柳川輝久

## 8 組織の現況

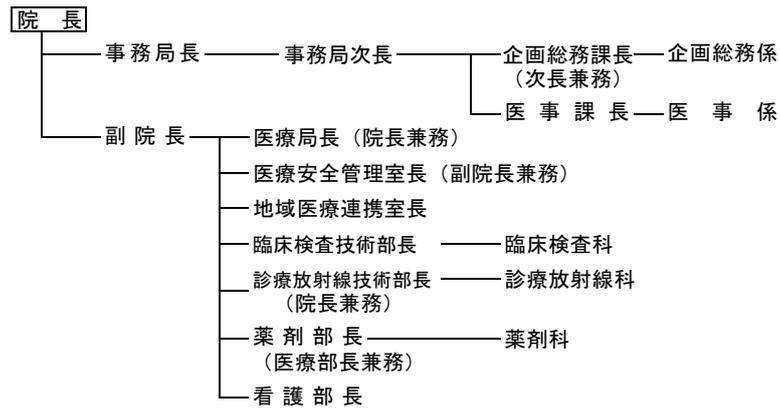
(平成27年3月31日現在)

区 分	循環器・呼吸器病センター	精神医療センター	がんセンター	本 部
所在地	〒989-4513 栗原市瀬峰根岸55-2 Tel0228-38-3151	〒981-1231 名取市手倉田字山無番地 Tel022-384-2236	〒981-1293 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel022-384-3151	〒981-1293 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel022-796-1042
開設年月日	昭和27年12月15日 (平成15年4月1日 瀬峰病院から改称)	昭和32年 4月12日 (平成15年4月1日 名取病院から改称)	昭和42年4月1日 (平成5年4月1日 成人病センターから改称)	
診療科目	循環器科、呼吸器科、 心臓血管外科、呼吸器 外科、消化器科、放射 線科、麻酔科	精神科、児童精神科、 歯科	循環器内科、糖尿病・代 謝内科、血液内科、腫瘍 内科、呼吸器内科、呼吸 器外科、消化器内科、消 化器外科、乳腺外科、整 形外科、形成外科、脳神 経外科、泌尿器科、婦人 科、眼科、頭頸部外科、 放射線診断科、放射線治 療科、麻酔科、病理診断 科、緩和ケア内科、歯 科、臨床検査科	
病床数	一般病床 150床 (うち休床42床) 結核病床 50床	精神病床 271床 (うち救急病床8床、 結核合併病床2床)	一般病床 383床 (うち緩和ケア病棟 25床)	
入院基本料 (施設基準)	一般病棟 一般病棟入院基本料 (7対1入院基本料) 感染病棟 結核病棟入院基本料 (10対1入院基本料)	精神病棟 精神病棟入院基本料 (15対1入院基本料) 精神科救急入院料Ⅰ	一般病棟 専門病院入院基本料 (7対1入院基本料) 緩和ケア病棟 緩和ケア病棟入院料	
主要職員	院長 近内利明 副院長 平潟洋一 " 小丸達也 臨床検査 技術部長 近野寿美枝 薬剤部長 伊藤康博 看護部長 畠山純子 事務局長 山越勝彦 地域医療 連携室長 及川千鶴子	院長 小高 晃 副院長 角藤芳久 医療局長 船越俊一 社会生活 支援部長 齋藤和子 看護部長 芦名容子 事務局長 氏家栄市	総長 西條 茂 院長 片倉隆一 研究所長 島 礼 副院長 小野寺博義 医療局長 藤谷恒明 臨床検査 技術部長 佐藤郁郎 看護部長 門間京子 薬剤部長 鈴木幹子 診療放射線 技術部長 佐藤益弘 事務局長 佐藤 純	事務局長 笹出陽康 看護専門監 我妻代志子

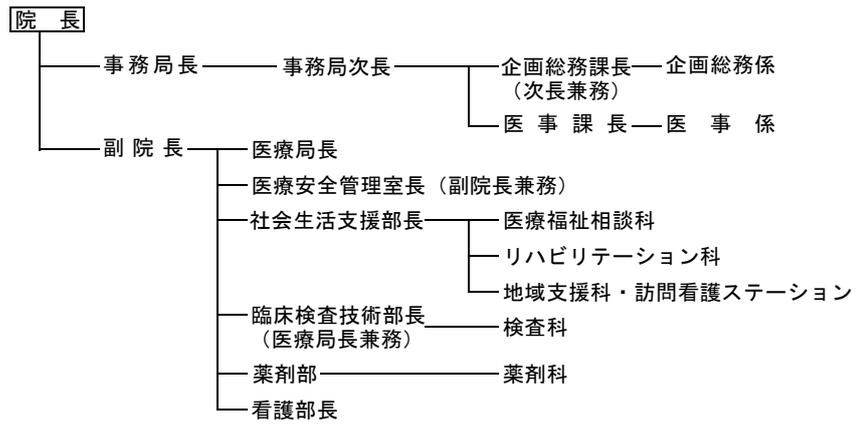
## 9 組織図

(平成27年3月31日現在)

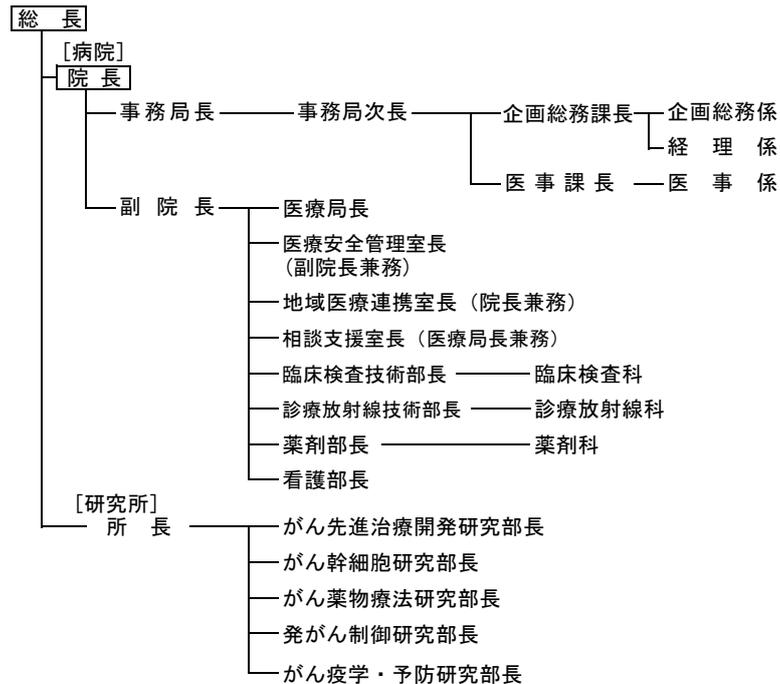
【循環器・呼吸器病センター】



【精神医療センター】



【がんセンター】



【本部】



10 職員の状況

(平成27年3月31日現在)

職 種 等	循環器・呼吸器病センター			精神医療センター			がんセンター			本部事務局			計			
	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ-イ)													
理事長・副理事長			人 0			人 0			人 0	2	2	0	2	2	0	
医 師	17	12	△ 5	15	18	3	74	76	2			0	106	106	0	
看護職員	看護 師	101	87	△ 14	134	135	1	280	294	14	1	1	0	516	517	1
	准看護 師			0	6	5	△ 1			0			0	6	5	△ 1
	看護 助手			0			0			0			0	0	0	0
	計	101	87	△ 14	140	140	0	280	294	14	1	1	0	522	522	0
医療技術職員	薬 剤 師	7	7	0	6	6	0	18	17	△ 1			0	31	30	△ 1
	診療放射線技師	10	10	0			0	24	26	2			0	34	36	2
	臨床検査技師	9	8	△ 1	3	3	0	20	22	2			0	32	33	1
	ケースワーカー			0	2	2	0			0			0	2	2	0
	臨床心理士			0	3	3	0	1	1	0			0	4	4	0
	作業・理学療法士		1	1	6	6	0	2	2	0			0	8	9	1
	臨床工学技士	4	3	△ 1			0	3	4	1			0	7	7	0
	医療ソーシャルワーカー	1	1	0			0	1	1	0			0	2	2	0
	精神保健福祉士			0	7	7	0			0			0	7	7	0
	管理栄養士	2	2	0	2	2	0	2	2	0			0	6	6	0
	化 学			0			0	2	2	0			0	2	2	0
	研 究			0			0	2	3	1			0	2	3	1
	歯科衛生士			0			0		1	1			0	0	1	1
	試験検査補助			0			0	1	1	0			0	1	1	0
計	33	32	△ 1	29	29	0	76	82	6	0	0	0	138	143	5	
事務職員	11	11	0	11	10	△ 1	16	18	2	18	17	△ 1	56	56	0	
合 計	162	142	△ 20	195	197	2	446	470	24	21	20	△ 1	824	829	5	
宮城県からの派遣職員数 (上記の内数)	7	5	△ 2	6	4	△ 2	9	6	△ 3	12	11	△ 1	34	26	△ 8	

## II 事業報告

### 1 事業を取り巻く環境

循環器・呼吸器病センター，精神医療センター，がんセンターの宮城県立3病院は，県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに，医療に関する調査及び研究を行い，県内における医療水準の向上を図り，もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的としております。

医療ニーズの多様化や国の医療制度の変化への対応など，県立病院を取り巻く環境が厳しさを増していることから，医療環境の変化や経営状況に応じた柔軟で弾力的な病院運営を行い，より一層の自律性，機動性が発揮できるよう，平成23年4月に地方独立行政法人に移行し，職員が一丸となって業務の遂行に当たっております。

### 病院の概要

(平成27年3月31日現在)

病院名	所在地	病床数	診療科	開院年月日	備考
循環器・呼吸器病センター	栗原市	200床	循環器科，呼吸器科，心臓血管外科，呼吸器外科，消化器科，放射線科，麻酔科	S27.12.15	H15.4.1 瀬峰病院から改称
精神医療センター	名取市	271床	精神科，児童精神科，歯科	S32.4.12	H15.4.1 名取病院から改称
がんセンター	名取市	383床	循環器内科，糖尿病・代謝内科，血液内科，腫瘍内科，呼吸器内科，呼吸器外科，消化器内科，消化器外科，乳腺外科，整形外科，形成外科，脳神経外科，泌尿器科，婦人科，眼科，頭頸部外科，放射線診断科，放射線治療科，麻酔科，病理診断科，緩和ケア内科，歯科，臨床検査科	S42.4.1	H5.4.1 成人病センターから改称

法人化後においても引き続き医療の質を高め，民間の医療機関では対応が難しい政策医療や高度・専門医療を提供するとともに，経営の安定に努め，県立病院としての役割を果たしながら，効率的な運営を図っていく必要があります。

## 2 平成26年度の主な取組（重点事項の実施状況）

法人化4年目となる平成26年度においても、変化する医療環境や厳しさを増す経営環境に適確に対応し、「医療の質」と「経営の質」を意識した病院運営を行うとともに、県立病院機構職員一人ひとりが高度・専門医療を担う役割を自覚し、安全かつ確実な医療の提供に努めてまいりました。

変化する医療環境に対応し、「医療の質」の向上に取り組むことにより、患者とその家族が納得し、安心・信頼して診療を受けられる病院であり続けることを目指しました。

### （1）質の高い医療の提供

#### イ 循環器・呼吸器病センター

県北地域のセーフティネットの一角を担う県立病院として、循環器系及び呼吸器系疾患を中心とした良質な医療サービスの提供に努め、救急告示病院として24時間365日救急体制の中で、救急患者581人〔前年度615人〕に対応いたしました。

心臓血管外科及び呼吸器外科については、大崎・栗原地域の医療提供体制の再編に合わせ、平成26年6月から手術を廃止し、外来患者の診療を主な業務としました。なお、心臓カテーテル検査・治療及びペースメーカー手術は継続して実施しています。

呼吸器科については、県内唯一の結核入院患者の受入機関として適切な結核医療の提供に努めながら、外来化学療法を実施しました。

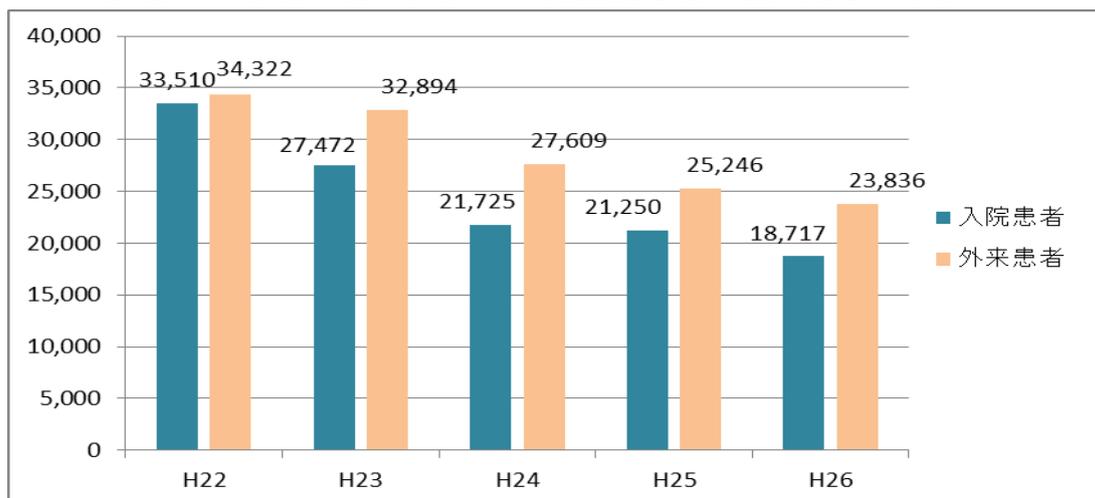
また、重症呼吸器感染症患者に適切に対応するため、院内体制の整備を図り、東北大学や所轄保健所等との連携の強化や職員の専門性を高めるための研修等を実施しました。

なお、高度医療機器の効率的活用を図るため、PR活動に取り組むとともに、認知症の早期診断のための脳血流シンチ検査の実施体制を構築し、平成26年10月から検査を開始しました。

その他、在宅復帰支援の充実とともに地域の医療ニーズに対応した新たな診療体制を構築するため、平成26年3月から開始した心大血管疾患リハビリテーションについては、平成27年1月に専従の理学療法士を配置し、体制を充実しました。

この他、病棟運営の効率化を図るため、平成27年4月に3階病棟と4階病棟を再編・統合することとし、新体制へのスムーズな移行に向けた準備を進めました。

## 循環器・呼吸器病センター 入院外来患者数（単位：人）



### ロ 精神医療センター

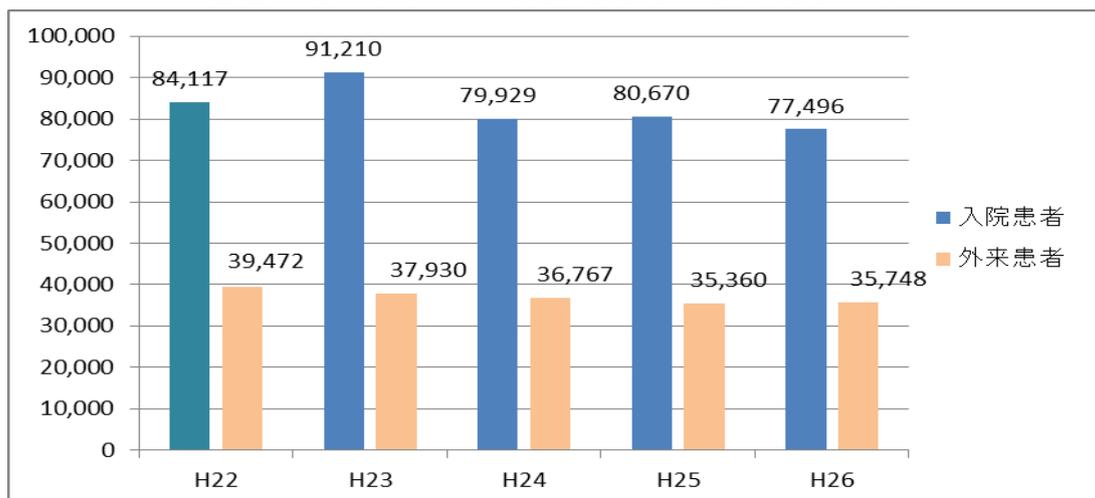
急性期治療向上のために整備した2つの精神科救急入院料算定病棟を効果的かつ効率的に運用するため、東1病棟及び東2病棟をバックアップ病棟として整備するなど、治療環境の改善に努めるとともに、救急・急性期医療を推進するため、保健所等からの救急入院依頼を積極的に受け入れるよう努めました。

また、精神科基幹病院として高度・専門医療を提供することを目的に、東北大学大学院医学系研究科と設置した地域精神医療講座により精神保健指定医の確保を図り、質の高い専門医療の提供に努めました。

その他、自立生活支援事業において、医師を含めた多職種チームの確保・養成に努めるなど、患者の早期社会復帰の促進に努めるとともに、平成26年4月から院内に開設した訪問看護ステーションに移行させ、精神科救急入院料算定病棟の2病棟化に伴う救急・急性期患者の在宅支援や利用者の再発・再入院の防止に積極的に関わり、地域生活支援体制の強化を図りました。

また、児童思春期医療については、近隣高等学校及び平成26年度から新たに中学校も加え連携及び普及啓発事業を実施するとともに、関係機関とのネットワークを構築するための協議を進め、体制の整備などを行いました。さらに、平成26年4月から児童精神科外来を設置し、地域の拠点施設（子ども総合センター、精神保健福祉センター）や関係機関との連携・役割分担の下、児童外来の拡充に努めました。

精神医療センター 入院外来患者数（単位：人）



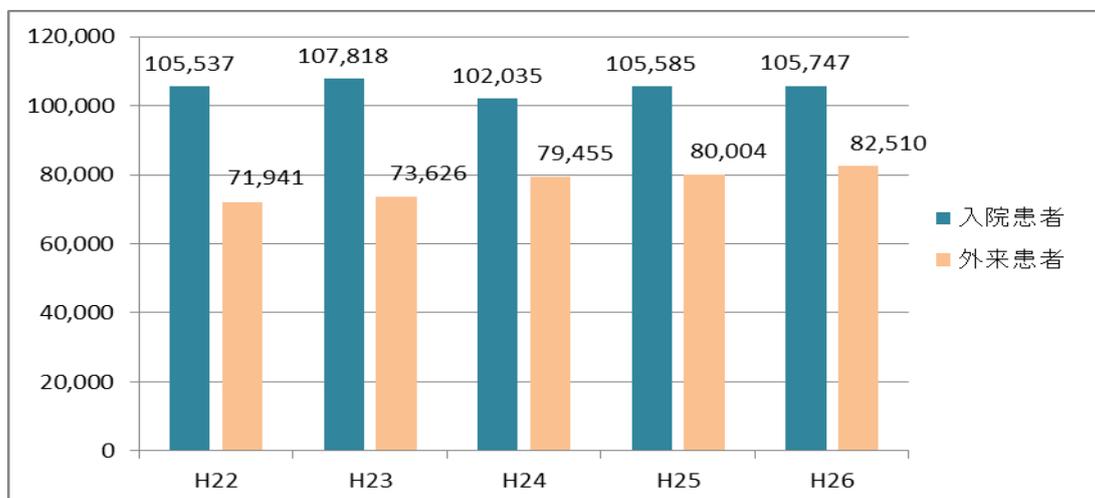
## ハ ガンセンター

がんの種類や患者の状態に応じた最適な医療を提供するため、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療の一層の促進を図りました。

がん患者の療養生活の質の向上を図るため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士など多職種で構成されるチームによる緩和ケアを実践しました。治療初期段階から精神的ケアも含めた緩和ケアを行うため、カンファレンスを毎週実施して情報の共有を図るなど、個々の患者の状態に応じた最適な緩和ケアを提供するよう努めました。

研究所においては、大学との連携を図りながら医療機能や医療水準の向上に向けた基礎及び臨床研究を実施しており、がん診断・治療のための新しいシーズ候補を見いだすことに成功し、論文や学会で発表されました。また、がん代謝に関する革新的な研究を行いました。

がんセンター 入院外来患者数（単位：人）



## (2) 安全・安心な医療の提供

### イ 循環器・呼吸器病センター

医療安全対策に関する院内研修を定期的実施（実績回数：年間27回）しており、特に「医療機器取扱安全研修」を重点的に実施（実績回数：年間21回）しました。

また、医療安全管理マニュアルの見直し、ヒヤリハット事例等（報告件数352件）の分析・改善策検討を行い、全職員に周知徹底するなど、医療事故の発生防止に努めました。

### ロ 精神医療センター

各部署から報告のあったヒヤリハット事例等を基に、毎週医療安全カンファランスで情報共有を図り事故防止に努めたほか、医療安全部門会議で現場確認、分析を行い、その内容を医療安全管理委員会に報告、周知共有しました。

また、病棟薬剤業務を試行し、一部病棟で薬剤師が駐在、積極的な服薬指導や処方提案、医薬品情報提供などを行いました。

### ハ がんセンター

毎週開催される医療安全管理室会議において、ヒヤリハット事例等の要因を分析し、対策案の検討や現状確認などを行ったうえで医療安全管理委員会に報告するとともに、これらの情報・分析内容を基に、医療安全マニュアルを改訂し、全職員に周知徹底しました。

そのほか、医療安全管理室主催の研修会を定期的実施して、職員の医療安全に関する資質の向上を図り、安心・安全な医療の提供に努めました。

## (3) 患者や家族の視点に立った医療の提供

### イ 循環器・呼吸器病センター

社会福祉士の資格を有する専門職員（医療ソーシャルワーカー）が中心となり、患者・家族からの医療福祉相談に応じ、医療面はもとより経済的な問題等の生活面も含めた相談に対応するとともに、紹介患者の受入れ、入院患者の退院調整や他の医療機関・施設への転院調整にも適切に対応するなど、信頼・安心できる相談体制の充実に努めました。

### ロ 精神医療センター

接遇インストラクターによる院内研修を開催したほか、病棟においては、看護師による接遇チェックシートを作成、活用し、接遇の向上に努めました。

また、各病棟に担当の精神保健福祉士を配置したほか、常勤職員に加えて週4日勤務の非常勤専従の精神保健福祉士を相談コーナーに配置し、外来の相談ニーズにも積極的に努めました。

#### ハ がんセンター

がん相談支援センターだよりやパンフレットのリニューアルなどの広報の強化を図りました。また、ハローワークと連携した就労相談を今年度から実施するなど、がん患者・ご家族のニーズをタイムリーに捉え、適切な情報提供と支援に努めました。

### (4) 人材の確保と育成

#### イ 医師の確保と育成

##### (イ) 循環器・呼吸器病センター

深刻な医師不足については、特に救急医療や感染症患者に対応する循環器科、呼吸器科医師等の確保が喫緊の課題となっていましたが、院長等による東北大学医学部等関係機関への働きかけを強化したことにより、平成25年度末には常勤医師17人体制を構築することができました。しかし、平成26年度に入り、大崎・栗原地域の医療提供体制の再編に伴い医師の退職が続き、常勤医師が12人（平成27年3月現在）まで減少しました。

なお、消化器科については、県立がんセンター及び栗原市立栗原中央病院の支援により、医師2人（非常勤）の診療体制を確保しております。

また、資質向上については、認定医、指導医、専門医等の資格取得（更新）に向けた講習会（学会）参加を積極的に奨励・支援したほか、産業医の資格取得にも取り組みました。

##### (ロ) 精神医療センター

大学との連携強化や随時募集を実施し、医療環境の変化や業務量の変化、医師不足に対応した柔軟な医師の確保に努めました。

また、学会、精神保健指定医資格取得のための研修会等への参加について支援を行いました。

##### (ハ) がんセンター

大学等と連携を図り、医療環境や業務量の変化に応じて医師の確保、配置を行うとともに、後期研修医（レジデント）の積極的な受け入れを行ったほか、石巻赤十字病院から研修医を受け入れました。

また、東北大学大学院との連携講座において18人の学生を受け入れ、

研究・教育の強化に取り組みました。

学会への参加や、がんセンターセミナー・キャンサーボード・その他の院内研修会への参加の促進、さらに研究所と共同での研究内容の臨床への応用などに努めました。

資格を取得した医師数（専門医、研修指導医等）	
循環器・呼吸器病センター	49人
精神医療センター	32人
がんセンター	160人

#### ロ 看護師の確保と育成

看護師採用試験の応募者確保対策として、民間の就職情報サイトへの登録、県内外の合同就職説明会への参加、広報用パンフレット・ポスターの作成、ノベルティグッズの作成等、積極的に広報活動を行いました。また、県内外の看護師養成機関（延べ18施設）を訪問し、採用情報の広報及び学生の動向等の情報収集を行ったほか、説明会及びインターンシップを開催しました。

医療環境や業務量の変化等に応じた適正な看護体制を維持するため、病院の状況に応じた柔軟な看護師の確保、配置に努めました。

また、資質向上を図るため、3病院の看護部長及び副部長による看護業務検討部会を8回開催し、看護師の育成や研修等について検討を行いました。平成26年度は、看護管理ラダーの運用を開始したほか、各種研修、事例発表等を行いました。

さらに、認定看護師、認定看護管理者の資格取得や学会等への参加を奨励・支援しました。

資格を取得した看護師数（認定看護師、専門看護師）	
循環器・呼吸器病センター	2人
精神医療センター	7人
がんセンター	9人

#### ハ コ・メディカルの確保と育成

コ・メディカルの必要職種について採用試験により人材を確保し、病院の状況に応じて、一部職種で年度途中の配置（採用）を行いました。

採用試験の実施に当たっては、各職種養成機関、県内外の技師会、公共機関等に広く募集要項を配布するなどして、応募者確保に努めました。

また、資質向上を図るため、職種別研修として3病院の医療技術職の各職種による業務検討部会を実施し、それぞれの分野についての研修や事例発表、意見交換等を行いました。

資格を取得したコ・メディカル数	
循環器・呼吸器病センター	29人
精神医療センター	10人
がんセンター	8人

## 二 事務職員の確保と育成

病院の実状・要望等に応じ、事務（大学卒業程度）、医療事務、民間企業等での一定の職務経験を有する事務職員の採用試験を実施し、プロパー職員の計画的な確保に努めました。

また、事務職員の資質向上を図るため、事務部門部会やプロパー職員を対象とした勉強会を定期的で開催したほか、人材育成プログラムとして、診療情報管理士の資格取得への支援を行いました。

## ホ その他

その他、新任職員研修やOA研修等を実施したほか、東北自治研修所が行う選択制研修の受講について奨励・支援しました。

## （５）災害等への対応

大規模な災害等が発生した場合に、必要とされる医療を迅速かつ適切に提供するため、医療機関との医薬品供給等に関する協定締結や水・食糧等の備蓄、並びに本部及び3病院の通信手段の確保に努めました。また、防災訓練を本部及び3病院で延べ9回実施しました。

循環器・呼吸器病センターにおいては、東日本大震災による岩手県の被災地に、医師、臨床検査技師、看護師で編成する医療支援チームを派遣し、DVT検診（継続調査）を実施したほか、新興・再興重症感染症の発生に対応するための患者受入訓練を実施しました。

また、精神医療センターにおいては、災害発生直後の初動対応を迅速かつ機動的に行えるようにするため、7つの自治体精神科病院で大規模災害時における相互支援協定を締結しました。

## （６）その他の重要な取組

### イ 循環器・呼吸器病センター

地域医療の質の向上と情報の共有を図るため、地域の医療機関や介護施設等と講演会（研修会）などを開催し、地域の医療機関等とより強固な信頼関係の構築に努めました。

また、地域医療連携だより（機関紙「Semine」）の定期発行、地域医療機関への訪問及びアンケート等を実施し、紹介等に必要な情報提供を推進す

るとともに地域の医療ニーズの把握に努め、連携を強化することによって、紹介・逆紹介の促進を図りました。

さらに、急性期から回復期・維持期へと切れ目のない結核医療を提供できるよう、平成24年度から導入した地域連携クリティカルパスについて見直し・修正を図りながら継続して活用しています。

#### ロ 精神医療センター

施設の老朽化及び狭隘化が著しく、必要な医療の提供に支障が生じていることや、本県における精神科基幹病院としての役割を維持し、精神科救急・急性期医療の強化やリハビリテーションの充実等の更なる診療機能の向上を図るため、新病院建設の運営計画及び施設の具体的な整備計画について検討を重ね、基本設計を終了し実施設計に着手しました。

#### ハ がんセンター

厚生労働大臣が指定する都道府県がん診療連携拠点病院については、平成27年3月31日付けで引き続き指定を受けました。

平成26年5月に新総合情報システムを稼働させ、オーダーリングシステムから電子カルテシステムに移行しました。

### 3 平成26年度の経営状況

#### (1) 循環器・呼吸器病センター

循環器・呼吸器病センターの運営に当たっては、地方独立行政法人の経営の基本原則に基づき、経済性の発揮と機動的かつ柔軟な病院経営に努めてきたところです。

損益の状況は、地域の医療提供体制の再編に伴う呼吸器科及び心臓血管外科の患者数の減少などにより、当初予算と比較すると入院・外来とも患者数は減少し、これに伴い「入院収益」は約133,351千円(15.5%)の減額、「外来収益」は約1,273千円(0.3%)の増額となりました。

入院は、当初予算と比較し年間延患者数が1,359人の減となっており、患者一人当たりの診療収入も3,514円の減となっております。

患者数の減は、呼吸器科及び心臓血管外科の患者数の減少が主なものであり、患者一人当たりの診療収入の減については、医療提供体制の再編に伴う手術の中止やカテーテル検査件数の減少が要因となっております。

また、病床利用率についても、手術の中止やカテーテル検査件数の減少による入院患者数の減少に伴い、当初予算に比べ2.3ポイントの減となっております。

外来は、当初予算と比較し年間患者数が236人の増となっているものの、患者一人当たりの収入は、131円の減となっております。

患者数の増は、心臓血管外科及び呼吸器外科の患者数の増加によるものですが、患者一人当たりの診療収入の減は、平成26年12月末で呼吸器科医師1名退職に伴い平成27年1月以降の化学療法患者の減によるものです。

(図表2参照)

また、営業費用については、薬品費のベンチマーク分析システム導入や診

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】循環器・呼吸器病センター (単位:百万円)

科 目	H26予算(ア)	H26決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	2,372	2,260	△ 111	△ 4.7%
1 医療収益	1,310	1,177	△ 133	△ 10.1%
(1)入院収益	861	727	△ 133	△ 15.5%
(2)外来収益	440	441	1	0.3%
(3)その他医療収益	10	9	△ 1	△ 6.0%
2 運営費負担金収益	1,048	1,066	18	1.7%
3 その他	14	17	3	23.7%
II 営業費用(B)	2,807	2,699	△ 108	△ 3.8%
1 医療費用	2,765	2,660	△ 105	△ 3.8%
(1)給与費	1,439	1,367	△ 72	△ 5.0%
(2)材料費	340	314	△ 26	△ 7.6%
(3)経費	617	613	△ 3	△ 0.5%
(4)減価償却費	359	353	△ 7	△ 1.9%
(5)研究研修費	10	13	3	28.3%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	42	39	△ 3	△ 7.2%
営業損(△)益	△ 435	△ 438	△ 4	△ 0.8%
III 営業外収益(D)	19	20	1	4.1%
1 運営費負担金収益	13	13	0	0.0%
2 その他	6	7	1	12.1%
IV 営業外費用(E)	19	19	△ 1	△ 3.2%
(1)財務費用(支払利息)	19	18	△ 1	△ 5.3%
(2)その他	0	1	0	359.7%
経常損(△)益	△ 435	△ 437	△ 2	△ 0.5%
III 臨時利益(G)	0	1	1	0.0%
VI 臨時損失(H)	1	0	△ 1	△ 95.0%
当年度純損(△)益	△ 436	△ 437	△ 1	△ 0.2%
目的積立金取崩額	0	4	4	0.0%
当年度総損(△)益	△ 436	△ 433	3	0.7%
積立金	0	△ 1,045	△ 1,045	0.0%
利益剰余金	△ 436	△ 1,477	△ 1,042	△ 239.0%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	83	62	△ 21	△ 25.7%
(1)長期借入金	83	61	△ 22	△ 26.2%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	467	443	△ 24	△ 5.1%
(1)建設改良費	108	84	△ 24	△ 22.2%
(2)償還金	359	359	△ 0	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 384	△ 382	3	0.7%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

療材料費のABC管理により材料費の節減に努めた結果、当初予算と比較すると約107,878千円(3.8%)の減額となりました。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業損失は約438,497千円となり、これに支払利息などの営業外費用を加えた当年度純損失は約436,659千円となり、目的積立金取崩額3,958千円を加えた当該年度総損失は、432,701千円となります。(図表3参照)

図表2 診療実績調 (税込)

平成27年3月31日現在

区 分		H26 決算(7)	H26 当初 予算(1)	中期計画	H25 決算	当初予算 対比ア-イ	当初予算 対比
入院	年間入院患者延数(人)	18,717	20,076	39,274	21,250	△1,359	93.2%
	金額(千円)	727,210	860,561	2,193,327	985,157	△133,351	84.5%
	患者一人当たりの診療収入	38,853円	42,367円	55,847円	46,360円	△3,514	83.8%
	平均在院日数(日)	16.9	—	—	16.1		
	病床利用率(%)	32.5%	34.8%	68.1%	36.8%		93.4%
外来	年間外来患者延数(人)	23,836	23,600	35,035	25,246	236	101.1%
	金額(千円)	440,921	439,648	455,174	463,869	1,273	100.3%
	患者一人当たりの診療収入	18,498円	18,629円	12,992円	18,374円	△131	99.3%
	平均通院日数(日)	10.0	—	—	9.4		
計	延べ患者数(人)	42,553	43,676	74,309	46,496	△1,123	97.4%
	金額(千円)	1,168,131	1,300,209	2,648,501	1,449,026	△132,078	89.8%

※許可病床200床、稼働病床158床

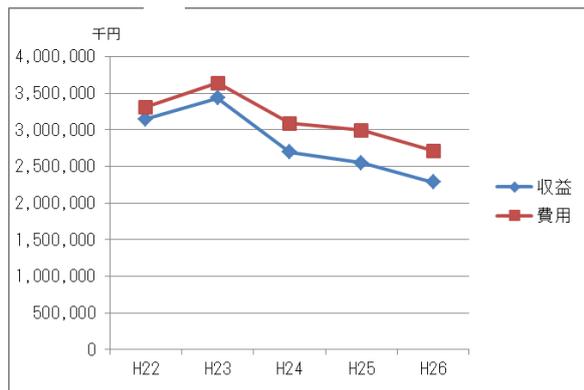
- ・入院診療日数 26年度 365日 25年度 365日
- ・外来診療日数 26年度 244日 25年度 244日
- ・病床利用率 年間入院患者延数÷年延病床数(稼働病床158床×歴日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表3 予算額に対する比較表 (税込)

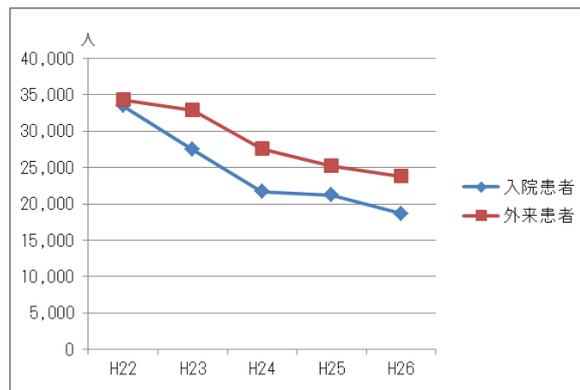
(単位:千円)

	H26決算 (A)	H26当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H26補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H25決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△3,651,667	△3,790,371	138,704	0.0	△3,755,991	104,324	2.8%	△3,430,401	△221,266	-6.5%
営業損益	△17,363	△207,723	190,360	0.9	△121,251	103,888	0.9	241,424	△258,787	△107.2%
経常損益	△6,657	△279,410	272,753	1.0	△181,319	174,662	1.0	211,714	△218,371	△103.1%
純損益	4,651	△238,520	243,171	1.0	△169,220	173,871	1.0	226,639	△221,988	△97.9%
目的積立金 取崩額	23,283	0	23,283	0.0%	36,135	△12,852	△35.6%	0	23,283	0.0%
総損益	27,934	△238,520	266,454	111.7%	△133,085	161,019	1.2	226,639	△198,705	△87.7%

図表4 収益・費用の推移



図表5 患者数の推移



## (2) 精神医療センター

精神医療センターの運営に当たっては、地方独立行政法人への移行に伴い、これまで以上に柔軟・迅速、適切な取り組みのできる組織運営に努めるとともに、「心のかような良質な医療を提供し、信頼される病院」を目指し、病院職員一人ひとりが精神科における高度・専門医療を担う役割を自覚し、目標の達成に努めました。

損益の状況は、当初予算と比較すると「入院収益」は約35,662千円(2.2%)の減額、「外来収益」は約18,088千円(6.3%)の減額となりました。

入院は、当初予算と比較し年間入院延患者数が2,804人の減となっておりますが、患者一人当たりの診療収入は272円の増となっております。

また、病床利用率については、年間入院延患者数の減少により当初予算と比較し2.9ポイントの減となりました。

年間入院延患者数の減は、8月以降新規入院患者数が減少したことによるものが主な要因となっております。

外来は、当初予算と比較し年間外来延患者数が225人の増となっておりますが、患者一人当たりの収入は557円の減となっております。

年間外来延患者数の増は、児童精神科外来の標榜による患者数の増加が主な要因であり、患者一人当たりの診療収入の減少は、診療報酬改正に伴う薬剤料の減少が主な要因となっております。(図表2参照)

営業費用については、宮城県の事業である子ども支援センター事業を受託したことや新病院開院に向けた委託業務の実施により、当初予算と比較すると約52,429千円の増となっております。

この結果、営業利益は約135,178千円となり、これに営業外収益等を加えた当年度純利益は約145,223千円となっております。また、目的積立金取崩額

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】精神医療センター (単位:百万円)

科 目	H26予算(ア)	H26決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	2,932	2,906	△ 26	△ 0.9%
1 医業収益	2,013	1,996	△ 16	△ 0.8%
(1)入院収益	1,624	1,589	△ 36	△ 2.2%
(2)外来収益	287	269	△ 18	△ 6.3%
(3)その他医業収益	102	139	37	36.6%
2 運営費負担金収益	909	899	△ 10	△ 1.1%
3 その他	10	11	0	1.4%
II 営業費用(B)	2,718	2,770	52	1.9%
1 医業費用	2,689	2,744	55	2.0%
(1)給与費	1,780	1,822	42	2.4%
(2)材料費	166	139	△ 27	△ 16.3%
(3)経費	551	574	23	4.2%
(4)減価償却費	181	179	△ 2	△ 0.8%
(5)研究研修費	11	29	18	167.5%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	29	26	△ 3	△ 8.9%
営業損(△)益	214	135	△ 79	△ 36.8%
III 営業外収益(D)	18	21	2	13.5%
1 運営費負担金収益	7	7	0	0.0%
2 その他	11	13	2	22.5%
IV 営業外費用(E)	12	11	△ 1	△ 11.1%
(1)財務費用(支払利息)	11	10	△ 1	△ 10.6%
(2)その他	1	0	△ 0	△ 23.3%
経常損(△)益	220	145	△ 75	△ 34.0%
III 臨時利益(G)	0	0	0	0.0%
VI 臨時損失(H)	0	0	0	162.5%
当年度純損(△)益	220	145	△ 75	△ 34.1%
目的積立金取崩額	0	5	5	0.0%
当年度総損(△)益	220	150	△ 70	△ 31.7%
積立金	0	435	435	0.0%
利益剰余金	220	586	365	165.9%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	188	128	△ 60	△ 32.1%
(1)長期借入金	188	128	△ 60	△ 32.1%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	347	255	△ 92	△ 26.5%
(1)建設改良費	259	167	△ 92	△ 35.5%
(2)償還金	88	88	△ 0	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 159	△ 127	32	19.9%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

約 5, 244 千円を加えた当年度総利益は約 150, 466 千円となっております。

(図表 3 参照)

図表 2 診療実績調 (税込)

平成 27 年 3 月 31 日現在

区分	H26 決算 (7)	H26 当初 予算 (1)	中期計画	H25 決算	当初予算 対比 A-イ	当初予算 対比	
入院	年間入院患者延数 (人)	77, 496	80, 300	87, 235	80, 670	△ 2, 804	96. 5%
	金額 (千円)	1, 588, 554	1, 624, 216	1, 497, 804	1, 478, 581	△ 35, 662	97. 8%
	患者一人当たりの診療収入	20, 499 円	20, 227 円	17, 170 円	18, 329 円	272	101. 3%
	平均在院日数 (日)	132. 7	—	—	140. 3		
	病床利用率 (%)	78. 3%	81. 2%	83. 6%	80. 1%		96. 4%
外来	年間外来患者延数 (人)	35, 748	35, 523	43, 975	35, 360	225	100. 6%
	金額 (千円)	268, 707	286, 795	365, 096	262, 010	△ 18, 088	93. 7%
	患者一人当たりの診療収入	7, 517 円	8, 074 円	8, 302 円	7, 410 円	△ 557	93. 1%
	平均通院日数 (日)	60. 3	—	—	57. 4		
計	延べ患者数 (人)	113, 244	115, 823	131, 210	116, 030	△ 2, 579	97. 8%
	金額 (千円)	1, 857, 261	1, 911, 011	1, 862, 900	1, 740, 591	△ 53, 750	97. 2%

※許可病床 271 床

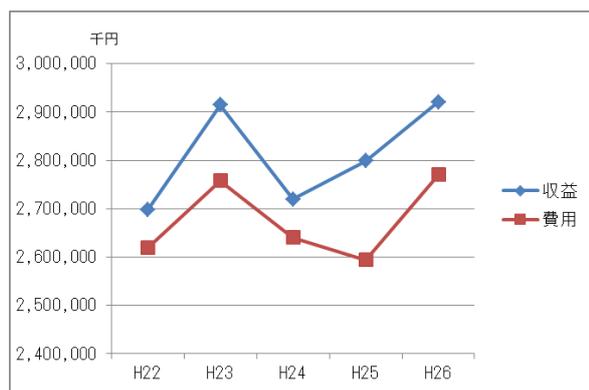
- ・ 入院診療日数 26 年度 365 日 25 年度 365 日
- ・ 外来診療日数 26 年度 244 日 25 年度 244 日
- ・ 病床利用率 年間入院患者延数 ÷ 年延病床数 (稼働病床 271 床 × 歴日数) × 100
- ・ 入院患者一人当たりの診療収入 入院収益 ÷ 年間入院患者延数
- ・ 外来患者一人当たりの診療収入 外来収益 ÷ 年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表 (税込)

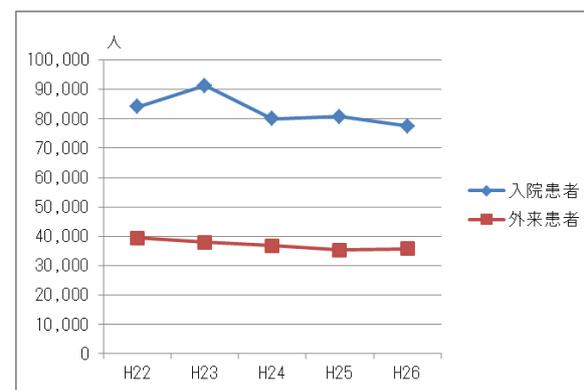
(単位: 千円)

	H26 決算 (A)	H26 当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H26 補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H25 決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 747,903	△ 676,393	△ 71,510	△ 10.6%	△ 786,422	38,519	4.9%	△ 736,652	△ 11,251	△ 1.5%
営業損益	135,178	213,956	△ 78,778	△ 36.8%	102,083	33,095	32.4%	193,900	△ 58,722	△ 30.3%
経常損益	145,241	220,220	△ 74,979	△ 34.0%	108,470	36,771	33.9%	200,453	△ 55,212	△ 27.5%
純損益	145,223	220,213	△ 74,990	△ 34.1%	108,463	36,760	33.9%	204,044	△ 58,821	△ 28.8%
目的積立金 取崩額	5,244	0	5,244	0.0%	7,135	△ 1,891	△ 26.5%	0	5,244	0.0%
総損益	150,466	220,213	△ 69,747	△ 31.7%	115,598	34,868	30.2%	204,044	△ 53,578	△ 26.3%

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移



### (3) がんセンター

がんセンターの運営に当たっては、専門的で高度な医療を提供するとともに、地方独立行政法人の経営の基本原則に基づいて経済性を発揮することにより、経営の健全化を推進しました。

入院は当初予算と比較して年間入院患者延数が1,672人の減でしたが、患者一人当たりの診療収入は899円の増となり、また、病床利用率は、当初予算に比べ1.2ポイントの減となりました。

年間入院患者延数の減は、在院日数の短縮等によるもの、患者一人当たりの診療収入の増は、在院日数の短縮に伴う入院基本料の単価増が主な要因となっております。

外来は当初予算と比較して年間外来患者延数が132人の減でしたが、患者一人当たりの診療収入は710円の増となりました。

患者一人当たりの診療収入の増は、平成25年10月に開棟した集学治療棟における高単価診療の増が年間で寄与したことによるものです。

入院及び外来ともに患者数の減少があったものの、患者一人あたりの診療収入の増加によっていずれも当初予算を上回りました。(図表2参照)

営業費用に関しては、薬品単価見直しのためベンチマークを基に前年度購入実績を考慮した価格を設定してメーカーとの価格交渉を行ったほか、診療材料に関する徹底した在庫管理の実施、新規で診療材料を採用する際の審査を強化するなどして縮減を図りました。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業利益は473,709千円で、これに消費税損失などの営業外費用を加えた当年度純利益は449,111千円となり、目的積立金取崩額13,500千円を加えた当年度総利益は462,611千円となります。(図表3参照)

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】がんセンター (単位:百万円)

科 目	H26予算(7)	H26決算(1)	増減(1)-(7)	増減率
I 営業収益(A)	10,032	10,150	118	1.2%
1 営業収益	7,925	8,016	91	1.2%
(1)入院収益	5,417	5,429	11	0.2%
(2)外来収益	2,338	2,395	56	2.4%
(3)その他営業収益	169	193	23	13.8%
2 運営費負担金収益	2,071	2,095	23	1.1%
3 その他	36	39	3	8.9%
II 営業費用(B)	9,785	9,677	△ 108	△ 1.1%
1 営業費用	9,535	9,435	△ 99	△ 1.0%
(1)給与費	4,500	4,500	△ 0	△ 0.0%
(2)材料費	2,433	2,414	△ 19	△ 0.8%
(3)経費	1,541	1,497	△ 43	△ 2.8%
(4)減価償却費	945	907	△ 38	△ 4.0%
(5)研究研修費	116	117	1	1.0%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	250	242	△ 9	△ 3.4%
営業損(△)益	248	474	226	91.2%
III 営業外収益(D)	171	184	12	7.2%
1 運営費負担金収益	124	124	0	0.0%
2 その他	47	60	12	26.0%
IV 営業外費用(E)	219	219	△ 0	△ 0.1%
(1)財務費用(支払利息)	190	180	△ 10	△ 5.4%
(2)その他	29	39	10	34.5%
経常損(△)益	200	438	238	119.2%
III 臨時利益(G)	0	12	12	0.0%
VI 臨時損失(H)	0	2	2	171239.2%
当年度純損(△)益	200	449	249	124.6%
目的積立金取崩額	0	13	13	0.0%
当年度総損(△)益	200	463	263	131.3%
積立金	0	1,462	1,462	0.0%
利益剰余金	200	1,924	1,724	862.2%
<b>【資本収支表】</b>				
I 資本収入(a)	829	675	△ 153	△ 18.5%
(1)長期借入金	829	663	△ 166	△ 20.0%
(2)その他	0	13	13	0.0%
II 資本支出(b)	1,825	1,672	△ 153	△ 8.4%
(1)建設改良費	913	760	△ 153	△ 16.8%
(2)償還金	912	912	△ 0	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 996	△ 997	△ 0	△ 0.0%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 診療実績調 (税込)

平成27年3月31日現在

区分	H26決算(7)	H26当初 予算(1)	中期計画	H25決算	当初予算 対比A-イ	当初予算 対比
入院	年間入院患者延数(人)	105,747人	107,419人	110,230人	105,585人	△1,672人 98.4%
	金額(千円)	5,428,134	5,417,403	5,307,586	5,338,827	10,731 100.2%
	患者一人当たりの診療収入	51,331円	50,432円	48,150円	50,564円	899円 101.8%
	平均在院日数(日)	19.3日	—日	—日	19.8日	
	病床利用率(%)	75.6%	76.8%	78.9%	75.5%	
外来	年間外来患者延数(人)	82,510人	82,642人	83,206人	80,004人	△132人 99.8%
	金額(千円)	2,393,017	2,338,190	1,904,697	2,125,466	54,827 102.3%
	患者一人当たりの診療収入	29,003円	28,293円	22,891円	26,567円	710円 102.5%
	平均通院日数(日)	14.2日	—日	—日	13.6日	
計	延べ患者数(人)	188,257人	190,061人	193,436人	185,589人	△1,804人 99.0%
	金額(千円)	7,821,151	7,755,593	7,212,283	7,464,294	65,558 100.8%

※許可病床 383 床

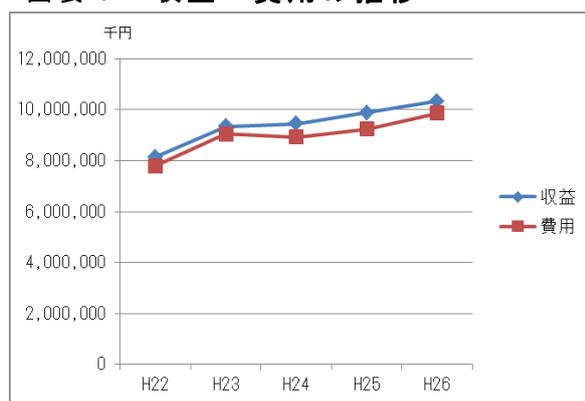
- ・ 入院診療日数 26年度 365日 25年度 365日
- ・ 外来診療日数 26年度 244日 25年度 244日
- ・ 病床利用率 年間入院患者延数÷年延病床数(許可病床383床×歴日数)×100
- ・ 入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・ 外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表3 予算額に対する比較表 (税込)

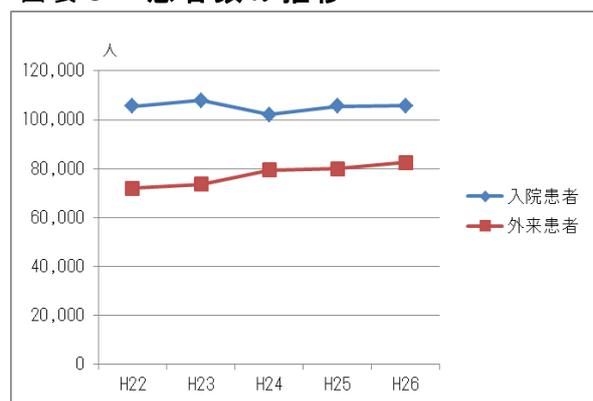
(単位:千円)

	H26決算 (A)	H26当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H26補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H25決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△1,418,829	△1,609,481	190,652	11.8%	△1,463,748	44,919	3.1%	△1,210,920	△207,909	△17.2%
営業損益	473,709	247,770	225,939	91.2%	399,911	73,798	18.5%	677,896	△204,187	△30.1%
経常損益	438,415	199,998	238,417	119.2%	363,461	74,954	20.6%	640,264	△201,849	△31.5%
純損益	449,111	199,997	249,114	124.6%	375,975	73,136	19.5%	638,738	△189,627	△29.7%
目的積立金 取崩額	13,500	0	13,500	0.0%	20,000	△6,500	△32.5%	0	13,500	0.0%
総損益	462,611	199,997	262,614	131.3%	395,975	66,636	16.8%	638,738	△176,127	△27.6%

図表4 収益・費用の推移



図表5 患者数の推移



(4) 本部事務局

収益につきましては、運営費負担金の額の確定及び資質向上事業の財源として計上していた臨時利益の減などにより、当初予算 91,140 千円に対し、決算額 50,801 千円となり、40,339 千円の減少となりました。

費用につきましては、研究研修費において、資質向上事業分を各病院へ付け替えしたことなどにより、当初予算比で 47,601 千円減少し 1,886 千円となったほか、給与費においては職員数の減などにより当初予算比で 23,224 千円減少し、一般管理費では、当初予算比で 33,060 千円減少の 200,981 千円となりました。

この結果、予備費の執行残などを含めた当年度純損失は、153,024 千円となり、目的積立金取崩額 582 千円を加えた当年度総損失は、152,442 千円となります。(図表 2 参照)

図表 1【決算報告書(予算対比、税込)】本部事務局 (単位:百万円)

科目	H26予算(ア)	H26決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	49	51	1	2.3%
1 医業収益	0	0	0	0.0%
(1)入院収益	0	0	0	0.0%
(2)外来収益	0	0	0	0.0%
(3)その他医業収益	0	0	0	0.0%
2 運営費負担金収益	49	49	0	0.0%
3 その他	0	1	1	0.0%
II 営業費用(B)	284	204	△ 80	△ 28.3%
1 医業費用	49	2	△ 47	△ 95.4%
(1)給与費	0	0	0	0.0%
(2)材料費	0	0	0	0.0%
(3)経費	0	0	0	0.0%
(4)減価償却費	0	0	0	0.0%
(5)研究研修費	49	2	△ 48	△ 96.2%
2 一般管理費	234	201	△ 33	△ 14.1%
3 その他	0	0	△ 0	△ 8.5%
営業損(△)益	△ 234	△ 153	81	34.7%
III 営業外収益(D)	0	0	0	3.3%
1 運営費負担金収益	0	0	0	0.0%
2 その他	0	0	0	0.0%
IV 営業外費用(E)	30	0	△ 30	△ 99.5%
(1)財務費用(支払利息)	0	0	△ 0	△ 0.2%
(2)その他	30	0	△ 30	△ 100.0%
経常損(△)益	△ 264	△ 153	111	42.1%
V 臨時利益(G)	42	0	△ 42	△ 100.0%
VI 臨時損失(H)	0	0	0	0.0%
当年度純損(△)益	△ 223	△ 153	70	31.4%
目的積立金取崩額	0	1	1	0.0%
当年度総損(△)益	△ 223	△ 152	71	31.6%
積立金	0	△ 525	△ 525	0.0%
利益剰余金	△ 223	△ 677	△ 454	△ 203.6%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	0	0	0	0.0%
(1)長期借入金	0	0	0	0.0%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	15	114	100	666.9%
(1)建設改良費	2	2	△ 0	△ 19.2%
(2)償還金	13	13	0	0.0%
(3)その他	0	100	100	0.0%
差引(a)-(b)	△ 15	△ 114	△ 100	△ 666.9%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 予算額に対する比較表 (税込)

(単位:千円)

	H26決算(A)	H26当初予算(B)	増減A-B	増減率	H26補正予算(C)	増減A-C	増減率	H25決算額(D)	増減A-D	増減率
医業損益	△ 2,273	△ 49,487	47,214	95.4%	△ 6,804	4,531	66.6%	△ 1,725	△ 548	△ 31.8%
営業損益	△ 153,028	△ 234,498	81,470	34.7%	△ 164,183	11,155	6.8%	△ 166,264	13,236	8.0%
経常損益	△ 153,024	△ 264,499	111,475	42.1%	△ 194,184	41,160	21.2%	△ 166,208	13,184	7.9%
純損益	△ 153,024	△ 222,999	69,975	31.4%	△ 194,185	41,161	21.2%	△ 166,276	13,252	8.0%
目的積立金取崩額	582	0	582	0.0%	1,000	△ 418	△ 41.8%	0	582	0.0%
総損益	△ 152,442	△ 222,999	70,557	31.6%	△ 193,185	40,743	21.1%	△ 166,276	13,834	8.3%

## (5) 機構全体

図表1 【決算報告書(予算対比, 税込)】 機構 (単位:百万円)

科 目	H26予算(ア)	H26決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	15,386	15,367	△ 19	△ 0.1%
1 医業収益	11,247	11,190	△ 58	△ 0.5%
(1)入院収益	7,902	7,745	△ 158	△ 2.0%
(2)外来収益	3,065	3,104	40	1.3%
(3)その他医業収益	281	341	60	21.4%
2 運営費負担金収益	4,078	4,109	31	0.8%
3 その他	61	68	8	13.0%
II 営業費用(B)	15,593	15,350	△ 244	△ 1.6%
1 医業費用	15,038	14,841	△ 196	△ 1.3%
(1)給与費	7,719	7,689	△ 30	△ 0.4%
(2)材料費	2,939	2,867	△ 72	△ 2.5%
(3)経費	2,709	2,686	△ 23	△ 0.8%
(4)減価償却費	1,485	1,439	△ 46	△ 3.1%
(5)研究研修費	186	160	△ 26	△ 13.8%
2 一般管理費	234	201	△ 33	△ 14.1%
3 その他	322	307	△ 14	△ 4.4%
営業損(△)益	△ 208	17	225	108.4%
III 営業外収益(D)	209	224	16	7.5%
1 運営費負担金収益	144	144	0	0.0%
2 その他	65	80	16	24.0%
IV 営業外費用(E)	280	248	△ 32	△ 11.4%
(1)財務費用(支払利息)	221	208	△ 12	△ 5.6%
(2)その他	60	40	△ 20	△ 32.9%
経常損(△)益	△ 279	△ 7	273	97.6%
III 臨時利益(G)	42	13	△ 28	△ 68.5%
VI 臨時損失(H)	1	2	1	188.8%
当年度純損(△)益	△ 239	5	243	101.9%
目的積立金取崩額	0	23	23	0.0%
当年度総損(△)益	△ 239	28	266	111.7%
積立金	0	328	328	0.0%
利益剰余金	△ 239	356	594	249.1%
<b>【資本収支表】</b>				
I 資本収入(a)	1,100	865	△ 235	△ 21.4%
(1)長期借入金	1,100	852	△ 248	△ 22.6%
(2)その他	0	13	13	0.0%
II 資本支出(b)	2,654	2,485	△ 169	△ 6.4%
(1)建設改良費	1,282	1,013	△ 269	△ 21.0%
(2)償還金	1,372	1,372	△ 0	△ 0.0%
(3)その他	0	100	100	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,554	△ 1,620	△ 66	△ 4.2%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

医業収益は、主に循環器・呼吸器病センターの患者数減少の影響等により、当初予算比で58百万円減少し11,190百万円となり、営業収益は19百万円減少し15,367百万円となりました。

営業費用は、主に材料費及び減価償却費等の減少などにより244百万円減少し15,350百万円となりました。

これらの結果、営業利益は、17百万円確保しました。

営業外収益は、主にがんセンターの院内保育料及び治験協力費の増加など

により 16 百万円増加し 224 百万円、営業外費用は、予備費の残などにより 32 百万円減少し 248 百万円となりました。

臨時利益は、資質向上事業の財源として計上していた分を目的積立金取崩額へ移行したなどにより、28 百万円減少し 13 百万円になり、臨時損失は、過年度損益修正損などにより 1 百万円増加し 2 百万円となりました。

以上の結果、当年度純損益は、5 百万円の純利益を確保し、これに目的積立金取崩額 23 百万円を加えた当年度総損益は、28 百万円の総利益となりました。

なお、資本的収支は、資産購入等に伴う契約請け差が発生したことなどにより、収入が 235 百万円減少し 865 百万円、支出が 169 百万円減少し 2,485 百万円となりました。

図表 2 診療実績調 (税込)

平成 27 年 3 月 31 日現在

区 分	H26 決算 (7)	H26 当初 予算 (1)	中期計画	H25 決算	当初予算 対比ア-イ	当初予算 対比	
入院	年間入院患者延数(人)	201,960	207,795	236,739	207,505	△5,835	97.2%
	金額 (千円)	7,743,898	7,902,180	8,998,717	7,802,566	△158,282	98.0%
	患者一人当たりの診療収入	38,343 円	38,029 円	38,011 円	37,602 円	314 円	100.8%
外来	年間外来患者延数(人)	142,094	141,765	162,216	140,610	329	100.2%
	金額 (千円)	3,102,645	3,064,633	2,724,967	2,851,346	38,012	101.2%
	患者一人当たりの診療収入	21,835 円	21,618 円	16,798 円	20,278 円	217 円	101.0%
計	延べ患者数(人)	344,054	349,560	398,955	348,115	△5,506	98.4%
	金額 (千円)	10,846,543	10,966,813	11,723,684	10,653,912	△120,270	98.9%

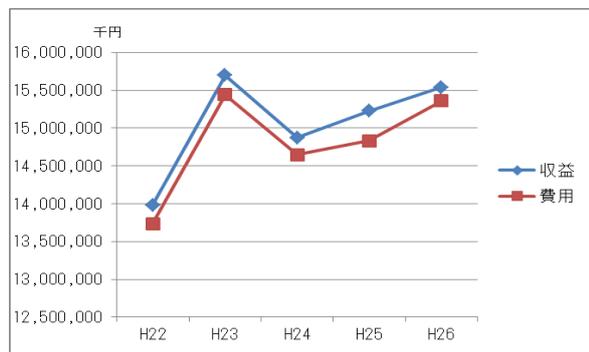
- ・ 入院診療日数 26 年度 365 日 25 年度 365 日
- ・ 外来診療日数 26 年度 244 日 25 年度 244 日
- ・ 入院患者一人当たりの診療収入 入院収益 ÷ 年間入院患者延数
- ・ 外来患者一人当たりの診療収入 外来収益 ÷ 年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表 (税込)

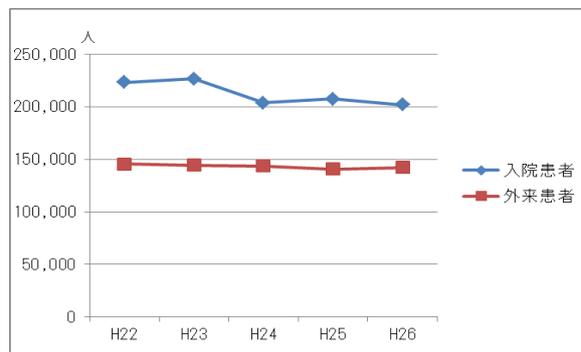
(単位：千円)

	H26決算 (A)	H26当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H26補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H25決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 3,651,667	△ 3,790,371	138,704	3.7%	△ 3,755,991	104,324	2.8%	△ 3,430,401	△ 221,266	△ 6.5%
営業損益	17,363	△ 207,723	225,086	108.4%	△ 121,251	138,614	114.3%	241,424	△ 224,061	△ 92.8%
経常損益	△ 6,657	△ 279,410	272,753	97.6%	△ 181,319	174,662	96.3%	211,714	△ 218,371	△ 103.1%
純損益	4,651	△ 238,520	243,171	101.9%	△ 169,220	173,871	102.7%	226,639	△ 221,988	△ 97.9%
目的積立金 取崩額	23,283	0	23,283	0.0%	36,135	△ 12,852	△ 35.6%	0	23,283	0.0%
総損益	27,934	△ 238,520	266,454	111.7%	△ 133,085	161,019	121.0%	226,639	△ 198,705	△ 87.7%

図表4 収益・費用の推移



図表5 患者数の推移



# 参 考 資 料

(病院別貸借対照表・損益計算書)

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地		479,100,000
建物	1,935,049,000	
建物減価償却累計額	<u>551,316,150</u>	1,383,732,850
構築物	76,714,561	
構築物減価償却累計額	<u>28,482,536</u>	48,232,025
器械備品	1,039,964,511	
器械備品減価償却累計額	<u>695,574,566</u>	344,389,945
車輛	110,250	
車輛減価償却累計額	<u>110,249</u>	1
その他有形固定資産	3,850,000	
他有形固定資産減価償却累計額	<u>0</u>	3,850,000
有形固定資産合計		<u>2,259,304,821</u>
2 無形固定資産		
ソフトウェア		90,771,186
電話加入権		<u>598,900</u>
無形固定資産合計		91,370,086
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		41,744,343
投資その他の資産合計		<u>41,744,343</u>
固定資産合計		2,392,419,250
II 流動資産		
現金及び預金		329,400
医業未収金	154,698,882	
貸倒引当金	<u>△ 3,805,006</u>	150,893,876
未収金		1,429,907
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	19,019,634	
診療材料	7,659,450	
その他貯蔵品	<u>816,860</u>	27,495,944
その他流動資産		<u>3,509,800</u>
流動資産合計		<u>183,658,927</u>
資産合計		<u><u>2,576,078,177</u></u>

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	33,869,201	
資産見返物品受贈額	<u>3,850,002</u>	37,719,203
長期借入金		220,263,472
移行前地方債償還債務		597,747,613
引当金		
退職給付引当金		1,055,887,256
長期リース債務		<u>8,806,752</u>
固定負債合計		1,920,424,296
II 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		165,331,915
1年以内返済予定長期借入金		60,380,527
医業未払金		190,803,680
未払金		34,673,601
1年以内支払予定リース債務		14,511,072
未払消費税等		529,130
預り金		9,435,084
引当金		
賞与引当金		58,868,486
その他流動負債		<u>1,818,294,944</u>
流動負債合計		<u>2,352,828,439</u>
負債合計		4,273,252,735
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金		<u>△ 219,931,405</u>
資本金合計		△ 219,931,405
II 利益剰余金		
積立金		△ 1,044,542,072
当期末処分利益(△当期末処分損失)		<u>△ 432,701,081</u>
(うち当期総利益)		( △ 432,701,081 )
利益剰余金合計		<u>△ 1,477,243,153</u>
純資産合計		<u>△ 1,697,174,558</u>
負債純資産合計		<u><u>2,576,078,177</u></u>

## 損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	727,210,009	
外来収益	440,921,336	
その他医業収益	8,335,787	1,176,467,132
運営費負担金収益		1,065,871,552
資産見返補助金等戻入		13,856,256
その他営業収益		3,152,469
営業収益合計		2,259,347,409
営業費用		
医業費用		
給与費	1,364,782,182	
材料費	314,122,667	
経費	577,334,943	
減価償却費	352,504,627	
研究研修費	12,075,262	2,620,819,681
取得資産に係る控除対象外消費税償却		10,497,488
控除対象外消費税(消費税損失)		66,201,435
営業費用合計		2,697,518,604
営業利益		△ 438,171,195
営業外収益		
運営費負担金収益		12,649,000
その他営業外収益		6,860,847
営業外収益合計		19,509,847
営業外費用		
財務費用		18,110,319
その他営業外費用		468,644
営業外費用合計		18,578,963
経常利益		△ 437,240,311
臨時利益		
固定資産売却益		611,011
臨時利益合計		611,011
臨時損失		
固定資産除却損		29,988
臨時損失合計		29,988
当期純利益(△損失)		△ 436,659,288
目的積立金取崩額		3,958,207
当期総利益(△損失)		△ 432,701,081

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地		712,910,000
建物	1,498,970,000	
建物減価償却累計額	483,957,269	1,015,012,731
構築物	76,828,923	
構築物減価償却累計額	28,578,477	48,250,446
器械備品	240,684,729	
器械備品減価償却累計額	146,104,874	94,579,855
車輛	2,431,592	
車輛減価償却累計額	2,044,162	387,430
建設仮勘定		<u>162,394,749</u>
有形固定資産合計		2,033,535,211
2 無形固定資産		
ソフトウェア		52,157,908
電話加入権		<u>326,500</u>
無形固定資産合計		52,484,408
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		<u>28,197,815</u>
投資その他の資産合計		<u>28,197,815</u>
固定資産合計		2,114,217,434
II 流動資産		
現金及び預金		422,392
医業未収金	358,583,676	
貸倒引当金	△ 28,172,363	330,411,313
未収金		4,761,404
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	9,913,356	
診療材料	2,342,492	
その他貯蔵品	1,510,400	13,766,248
その他流動資産		<u>974,789,187</u>
流動資産合計		<u>1,324,150,544</u>
資産合計		<u><u>3,438,367,978</u></u>

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	91,694,354	
資産見返物品受贈額	1	91,694,355
長期借入金		164,710,954
移行前地方債償還債務		577,042,373
引当金		
退職給付引当金		1,379,509,872
長期リース債務		2,969,820
固定負債合計		2,215,927,374
II 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		78,603,792
1年以内返済予定長期借入金		8,307,921
医業未払金		156,876,342
未払金		44,839,091
1年以内支払予定リース債務		6,974,856
未払消費税等		4,071,250
預り金		12,129,566
引当金		
賞与引当金		92,723,052
流動負債合計		404,525,870
負債合計		2,620,453,244
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金		232,341,583
資本金合計		232,341,583
II 利益剰余金		
積立金		435,106,871
当期末処分利益(△当期末処分損失)		150,466,280
(うち当期総利益)	(	150,466,280)
利益剰余金合計		585,573,151
純資産合計		817,914,734
負債純資産合計		3,438,367,978

## 損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	1,588,554,184	
外来収益	268,706,629	
その他医業収益	<u>128,538,876</u>	1,985,799,689
運営費負担金収益		898,882,932
補助金等収益		150,000
資産見返補助金等戻入		<u>10,420,183</u>
営業収益合計		2,895,252,804
営業費用		
医業費用		
給与費	1,820,582,078	
材料費	139,247,712	
経費	541,204,716	
減価償却費	179,452,449	
研究研修費	<u>26,670,347</u>	2,707,157,302
取得資産に係る控除対象外消費税償却		3,925,127
控除対象外消費税(消費税損失)		<u>48,117,993</u>
営業費用合計		2,759,200,422
営業利益		136,052,382
営業外収益		
運営費負担金収益	7,301,000	
財務収益	158,009	
償却債権取立益	255,840	
その他営業外収益	<u>12,117,598</u>	19,832,447
営業外収益合計		19,832,447
営業外費用		
財務費用	10,269,686	
その他営業外費用	<u>374,195</u>	10,643,881
営業外費用合計		10,643,881
経常利益		145,240,948
臨時利益		
臨時利益合計		0
臨時損失		
固定資産除却損		18,378
臨時損失合計		<u>18,378</u>
当期純利益(△損失)		145,222,570
目的積立金取崩額		5,243,710
当期総利益(△損失)		<u><u>150,466,280</u></u>

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地		590,680,000
建物	6,883,364,000	
建物減価償却累計額	<u>1,179,423,107</u>	5,703,940,893
構築物	98,411,804	
構築物減価償却累計額	<u>22,043,596</u>	76,368,208
器械備品	3,782,469,396	
器械備品減価償却累計額	<u>1,812,718,469</u>	1,969,750,927
車輛	228,375	
車輛減価償却累計額	<u>228,372</u>	3
有形固定資産合計		8,340,740,031
2 無形固定資産		
ソフトウェア		417,250,433
電話加入権		251,500
その他無形固定資産		<u>3,522,164</u>
無形固定資産合計		421,024,097
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		<u>171,919,716</u>
投資その他の資産合計		<u>171,919,716</u>
固定資産合計		8,933,683,844
II 流動資産		
現金及び預金		642,950
医業未収金	1,252,963,159	
貸倒引当金	<u>△ 6,763,645</u>	1,246,199,514
未収金		23,503,833
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	81,263,079	
診療材料	35,917,260	
その他貯蔵品	<u>2,891,310</u>	120,071,649
その他流動資産		<u>1,958,650,093</u>
流動資産合計		<u>3,349,068,039</u>
資産合計		<u><u>12,282,751,883</u></u>

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	100,171,127	
資産見返寄附金	355,542	
資産見返物品受贈額	<u>32,364,662</u>	132,891,331
長期借入金		2,543,151,566
移行前地方債償還債務		4,179,670,599
引当金		
退職給付引当金		2,312,496,839
長期リース債務		<u>208,028,910</u>
固定負債合計		9,376,239,245
II 流動負債		
寄附金債務		10,289,110
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		593,053,609
1年以内返済予定長期借入金		318,464,947
医業未払金		579,912,106
未払金		58,567,204
1年以内支払予定リース債務		91,265,400
未払消費税等		8,661,020
預り金		29,960,133
前受金		79,281,178
引当金		
賞与引当金		<u>229,200,560</u>
流動負債合計		<u>1,998,655,267</u>
負債合計		11,374,894,512
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金		<u>△ 1,016,499,159</u>
資本金合計		△ 1,016,499,159
II 利益剰余金		
積立金		1,461,745,361
当期末処分利益(△当期末処分損失)		<u>462,611,169</u>
(うち当期総利益)		( 462,611,169 )
利益剰余金合計		<u>1,924,356,530</u>
純資産合計		907,857,371
負債純資産合計		<u><u>12,282,751,883</u></u>

# 損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	5,428,133,743	
外来収益	2,393,017,085	
その他医業収益	174,915,875	7,996,066,703
運営費負担金収益		2,094,599,035
補助金等収益		16,961,000
資産見返補助金等戻入		16,248,344
資産見返寄附金戻入		44,322
資産見返物品受贈額戻入		6,088,923
その他営業収益		129,630
営業収益合計		10,130,137,957
営業費用		
医業費用		
給与費	4,496,952,156	
材料費	2,414,010,387	
経費	1,395,132,863	
減価償却費	906,885,604	
研究研修費	109,680,811	9,322,661,821
取得資産に係る控除対象外消費税償却		33,246,273
控除対象外消費税(消費税損失)		299,417,596
営業費用合計		9,655,325,690
営業利益		474,812,267
営業外収益		
運営費負担金収益	123,801,000	
補助金等収益	73,982	
寄附金収益	1,479,280	
財務収益	315,661	
その他営業外収益	54,285,778	179,955,701
営業外収益合計		179,955,701
営業外費用		
財務費用	179,695,718	
その他営業外費用	36,669,554	216,365,272
営業外費用合計		216,365,272
経常利益		438,402,696
臨時利益		
過年度損益修正益	12,346,663	
その他臨時利益	45,061	12,391,724
臨時利益合計		12,391,724
臨時損失		
固定資産除却損	89	
過年度損益修正損	1,683,115	1,683,204
臨時損失合計		1,683,204
当期純利益(△損失)		449,111,216
目的積立金取崩額		13,499,953
当期総利益(△損失)		462,611,169

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
器械備品	30,802,504	
器械備品減価償却累計額	20,047,509	10,754,995
車輛	1,588,380	
車輛減価償却累計額	198,947	1,389,433
有形固定資産合計		12,144,428
2 無形固定資産		
ソフトウェア		10,486,000
無形固定資産合計		10,486,000
3 投資その他の資産		
投資有価証券		99,982,666
長期前払消費税		923,746
投資その他資産		11,760
投資その他の資産合計		100,918,172
固定資産合計		123,548,600
II 流動資産		
現金及び預金		1,747,704,315
医業未収金	2,164,326	
貸倒引当金	△ 2,165,177	△ 851
未収金		400,851
その他流動資産		△ 2,894,556,991
流動資産合計		△ 1,146,452,676
資産合計		△ 1,022,904,076

貸借対照表  
(平成27年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返物品受贈額	588,956	588,956
引当金		
退職給付引当金	<u>7,504,499</u>	
固定負債合計		8,093,455
II 流動負債		
寄附金債務	2,066,329	
1年以内返済予定移行前地方債償還債務	12,500,000	
医業未払金	227,921,709	
未払金	33,770,161	
1年以内支払予定リース債務	242,172	
預り金	947,167	
引当金		
賞与引当金	8,523,738	
その他流動負債	<u>△ 1,818,294,944</u>	
流動負債合計		<u>△ 1,532,323,668</u>
負債合計		△ 1,524,230,213
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	<u>1,178,442,089</u>	
資本金合計		1,178,442,089
II 利益剰余金		
積立金	△ 524,673,937	
当期末処分利益(△当期末処分損失)	<u>△ 152,442,015</u>	
(うち当期総利益)	( △ 152,442,015 )	
利益剰余金合計		<u>△ 677,115,952</u>
純資産合計		501,326,137
負債純資産合計		<u>△ 1,022,904,076</u>

## 損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
運営費負担金収益	49,498,000	
補助金等収益	400,000	
寄附金収益	338,742	
資産見返物品受贈額戻入	417,501	
営業収益合計	50,654,243	50,654,243
営業費用		
医業費用		
経費	387,650	
研究研修費	1,749,720	2,137,370
一般管理費		
給与費	176,561,019	
経費	15,344,367	
減価償却費	7,694,210	199,599,596
取得資産に係る控除対象外消費税償却	420,973	
控除対象外消費税(消費税損失)	1,523,904	
営業費用合計	203,681,843	203,681,843
営業利益		△ 153,027,600
営業外収益		
運営費負担金収益	142,000	
その他営業外収益	4,713	
営業外収益合計	146,713	146,713
営業外費用		
財務費用	142,672	
営業外費用合計	142,672	142,672
経常利益		△ 153,023,559
臨時利益		
臨時利益合計		0
臨時損失		
固定資産除却損	1	
臨時損失合計	1	1
当期純利益(△損失)		△ 153,023,560
目的積立金取崩額		581,545
当期総利益(△損失)		△ 152,442,015